

若者のボランティア活動意識に 関するアンケート調査

集計結果および考察

令和7年2月

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

福井県ボランティアセンター

【調査概要】

● 調査の目的

本調査は、本県の若い世代を対象に、ボランティア活動に対する意識や意欲について把握し、ボランティア活動への参加促進につなげることを目的に実施した。

また、県民のボランティア活動意欲向上と参加しやすい基盤づくりのため、県内社協・ボランティアセンターが実施する「ボランティア体験事業」のすすめ方など、今後のボランティア振興の取組みにつなげる。

● 調査方法

Googleフォームを使ったインターネットアンケート

● 調査期間

令和6年8月29日（木）～10月31日（木）まで

● 調査対象

福井県民である15歳から24歳までの高校生、大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生、社会人等

● 回答者数 4,290名



【調査結果のポイント】

■ 本県の若者の中で、女性の方がボランティア活動に興味がある割合が高い！

本県の若者のボランティア活動に対する興味は、男性よりも女性の方が高い。しかし、（公財）日本財団ボランティアセンターが令和5年に行った「全国学生1万人アンケート」（以下、全国調査という）と比べると、男女とも全国より興味がある方の割合が低い。

■ ボランティア活動への興味は、高校生では低く、大学生・大学院生では約80%と高い！

ボランティア活動への興味は、高校生で52.9%と最も低く、大学生・大学院生では約80%と高い。

■ 県内の若者が参加したボランティア活動では、「まちづくりのための活動」が第1位！

昨年度1年間でボランティア活動経験のある若者のうち、活動内容として最も多かったのは、「まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、まちおこしなど）」であった。

■ 動機に関わらず活動した2人に1人が、「人の役に立てた、やりがいがあった」と感じている！

ボランティア活動に参加した理由では、「地域や社会の役に立ちたいと思った」が33.2%と最も多かったが、「楽しそう・面白そうだから」（27.0%）、「進路・就職等の参考」（23.8%）という自分本位な理由や、「家族や友人・同僚等から勧められたから」（23.6%）という理由も多かった。一方で活動から得られたことでは、「人の役に立てた・やりがいを感じた」が56.3%、「さまざまな人との交流ができた」が52.7%と、動機に関わらず活動を通じてボランティア活動のもつ「公共性・公益性」を実感していることが分かった。

■ ボランティア活動の経験の有無が、今後の継続意欲に大きく関係する！

ボランティア活動の経験がある人となない人では、今後のボランティア活動の継続意欲に違いがみられた。



【調査結果のポイント】

■ ボランティア活動の経験がない理由として、「時間的な余裕のなさ」をあげる若者が多い！

昨年度1年間でボランティア活動の経験がない理由として、どの職業においても「時間的な余裕がないこと」が1位となっている。

■ 若者は、地域活動・子ども・イベント関係のボランティア活動に興味がある方が多い！

本会のボランティア体験事業について、既存のプログラムで参加したい活動先として、「児童福祉施設」と「地域活動団体」を50%以上の方が選んでいる。また、既存のプログラム以外での参加したい活動としては、「イベントの企画や運営」、「スポーツに関する活動」、「まちづくりのための活動」などが多い。

■ 若者は一人ではなく、誰かと一緒にボランティア活動を行いたい！

ボランティア活動への参加のしかたとして、「友人や知人と一緒に」が最も多く、「自分一人で」参加することに関しては抵抗を感じる方が多い。

■ ボランティア活動に関する情報は、学校・職場で得ることが多い！

ボランティア活動に関する情報について、情報を「誰かと一緒に」共有しやすい「学校や職場の掲示やお知らせ」が好まれたり、SNS等友人・知人間でのシェアのしやすさから、「SNS上での広告や情報」を選ぶ方が多かった。

■ 「活動仲間」、「入手・共有しやすい情報」、「参加のしやすさ」によって参加意欲が高まる！

若者のボランティア活動の参加意欲を高めるためには、「一緒に活動できる仲間」がおり、「情報が簡単に入手でき」て「参加のための手続きが煩わしくない」ことが重要視されている。



【今後検証が求められること】

■ 若い男性のボランティア活動への興味・関心の低さについて

本県の若者のボランティア活動に対する興味は、特に男性で「興味がない」が54.5%と半数を超える。全国調査と比べても、本県の若い男性のボランティア活動に対する興味は低いため、その要因を探る必要がある。（なお全国調査では、高校生は調査の対象外。）

■ 進路選択や就職活動と若者のボランティア活動の意欲との関係について

昨年度1年間でのボランティア活動の経験の有無では、年齢では17歳時、21歳時にボランティア活動を経験した方が多い。学年にすると高校2年生や大学3年生の時に活動を経験したことになるが、進路選択や就職に向けて動き出す時期と重なり、社会への関心の高まりや時間の確保のしやすさも影響しているのではないかと。

■ 若者のボランティア活動で本県では第1位となった「まちづくりのための活動」と学校や地域との関係について

昨年度1年間で若者が行ったボランティア活動として、「まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、まちおこしなど）」が最も多かった背景には、若者を取り巻く学校や地域における環境要因や事情があるのではないかと。

■ 活動の経験がない主な理由である「時間的な余裕のなさ」が意味することについて

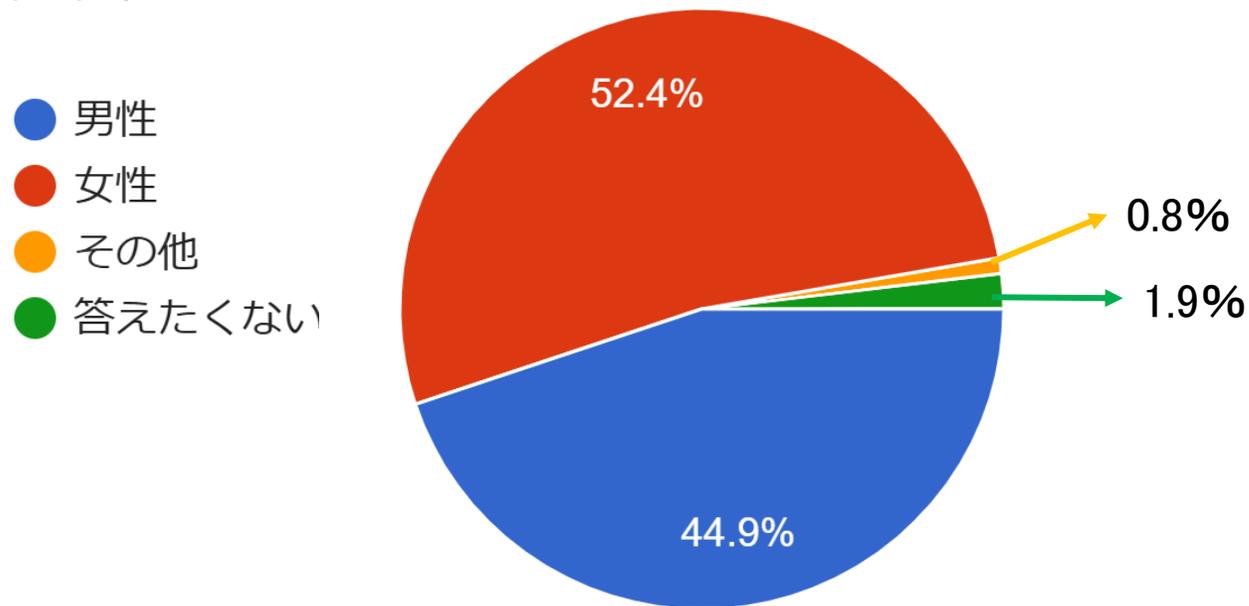
昨年度1年間にボランティア活動の経験がない理由として、63.8%の若者が「時間的な余裕のなさ」をあげている。このことが意味することについては、若者の生活実態の把握や時間の使い方に関する価値観や優先度、「ボランティア活動＝時間がかかる」という固定観念の有無など、さらなる検証が必要である。



【回答者の属性】（性別）

質問1 あなたの性別を教えてください。

4,290 件の回答



性別	回答数（人）
男性	1,925
女性	2,248
その他	36
答えたくない	81
合計	4,290

※「その他」、「答えたくない」の回答につきましては、サンプル数が少ないため、性別とのクロス集計の際は参考データとして取り扱います。



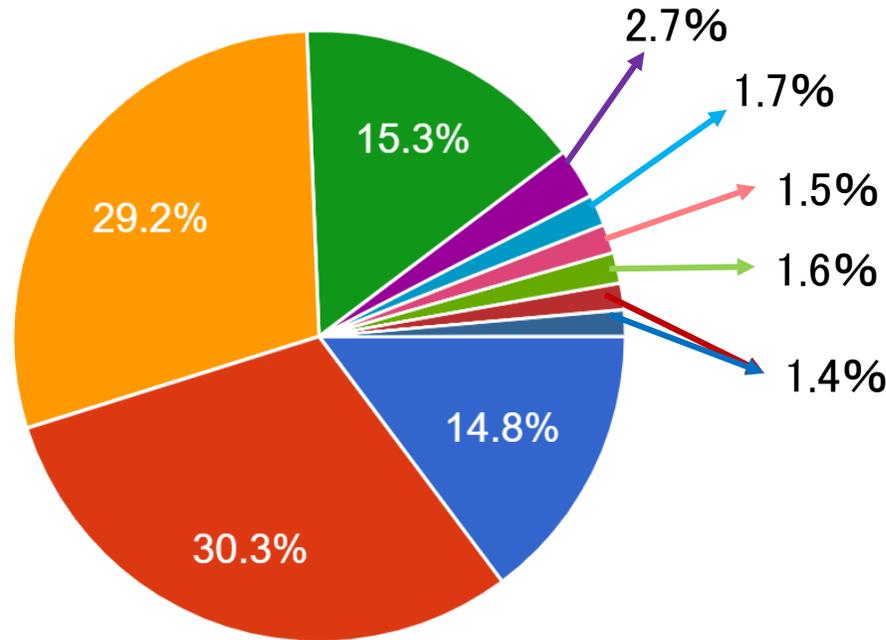
回答者は、女性が52.4%、男性が44.9%と女性が半数以上となった。

【回答者の属性】（年齢）

質問1-2 あなたの年齢を教えてください。

4,290 件の回答

- 15歳
- 16歳
- 17歳
- 18歳
- 19歳
- 20歳
- 21歳
- 22歳
- 23歳
- 24歳



年齢	回答数（人）
15歳	635
16歳	1,302
17歳	1,253
18歳	658
19歳	115
20歳	71
21歳	66
22歳	70
23歳	60
24歳	60
合計	4,290



回答者は、16歳と17歳がそれぞれ約30%、15歳と18歳がそれぞれ約15%で、15~18歳が回答者の89.7%を占める。

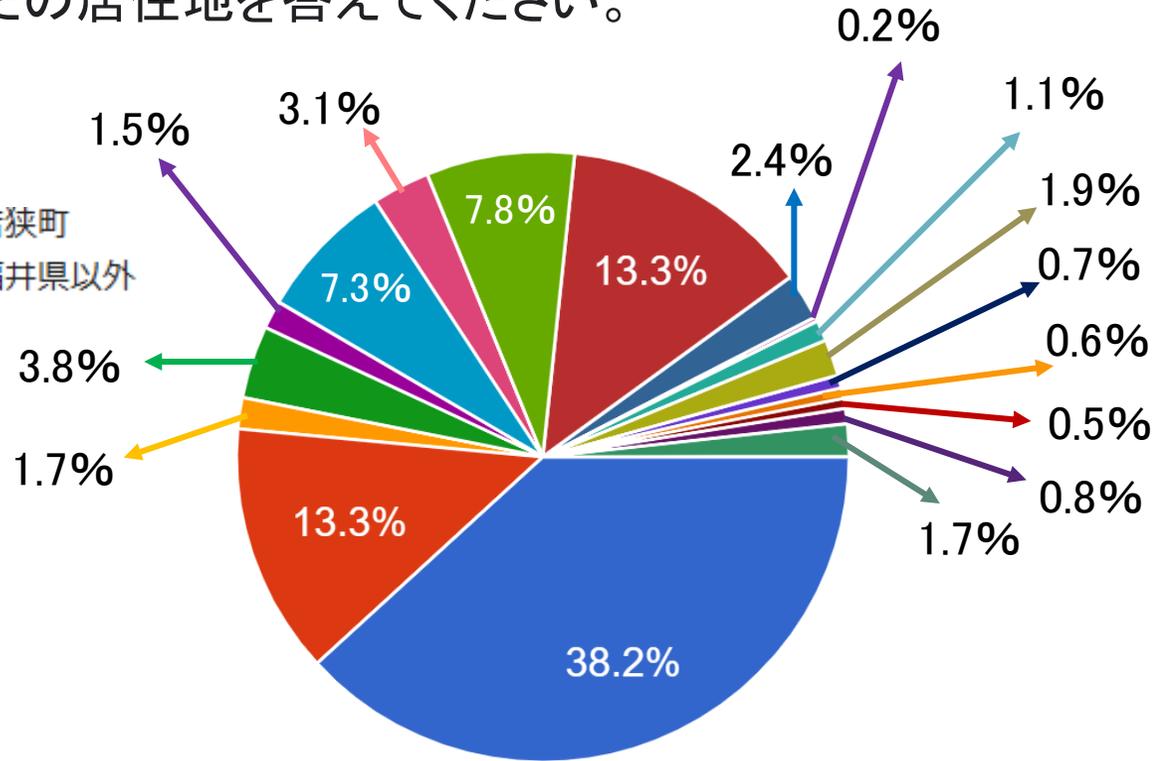
※端数処理の関係で%表記の合計が100%にならない場合があります。

【回答者の属性】（居住地）

質問1-3 あなたの居住地を教えてください。

4,290 件の回答

- 福井市 ● 坂井市 ● 若狭町
- 敦賀市 ● 永平寺町 ● 福井県以外
- 小浜市 ● 池田町
- 大野市 ● 南越前町
- 勝山市 ● 越前町
- 鯖江市 ● 美浜町
- あわら ● 高浜町
- 越前市 ● おおい町



居住地	回答数 (人)
福井市	1,638
敦賀市	570
小浜市	71
大野市	165
勝山市	64
鯖江市	314
あわら市	131
越前市	336
坂井市	571
永平寺町	105
池田町	10
南越前町	47
越前町	83
美浜町	29
高浜町	24
おおい町	23
若狭町	34
福井県以外	75
合計	4,290



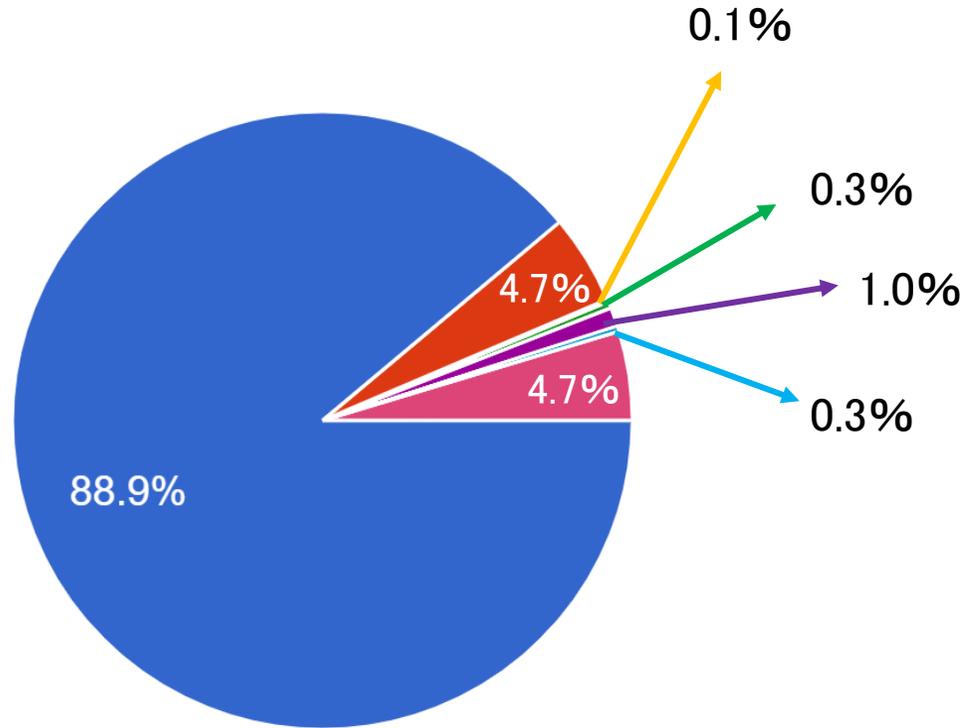
回答者は、福井市在住者が38.2%と最も多く、次いで敦賀市と坂井市在住者が13.3%となった。

【回答者の属性】（職業）

質問1-4 あなたの職業を教えてください。

4,290 件の回答

- 高校生
- 大学生
- 大学院生
- 短期大学生
- 専門学校生
- 高等専門学校生
- 社会人



職業	回答数 (人)
高校生	3,813
大学生	201
大学院生	6
短期大学生	15
専門学校生	42
高等専門学校生	13
社会人	200
合計	4,290

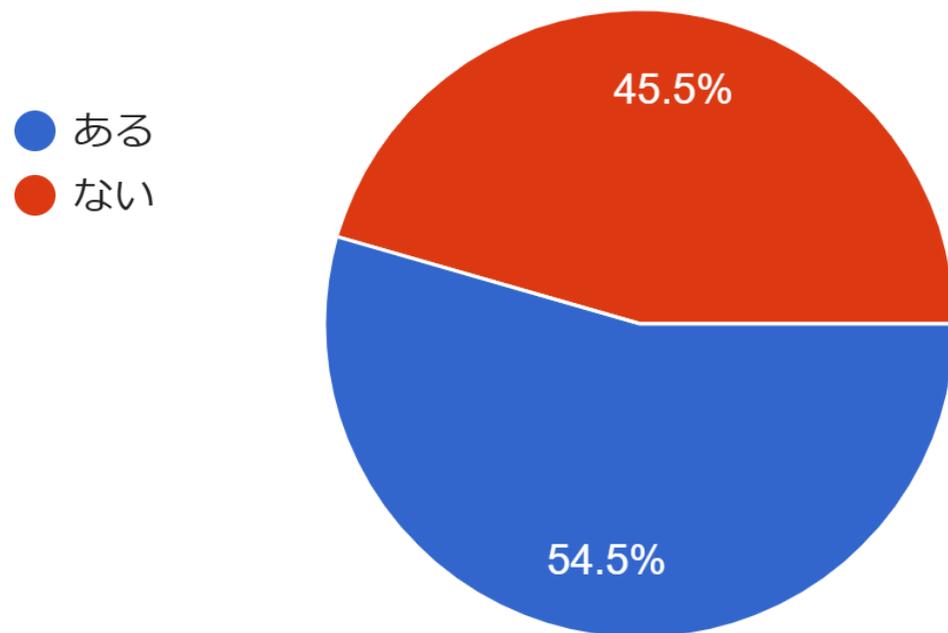


回答者の職業は、高校生が88.9%、大学生と社会人がそれぞれ4.7%と、主な回答者は高校生となった。

【ボランティア活動への興味】

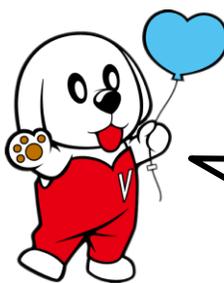
質問2 ボランティア活動に興味はありますか。

4,290 件の回答

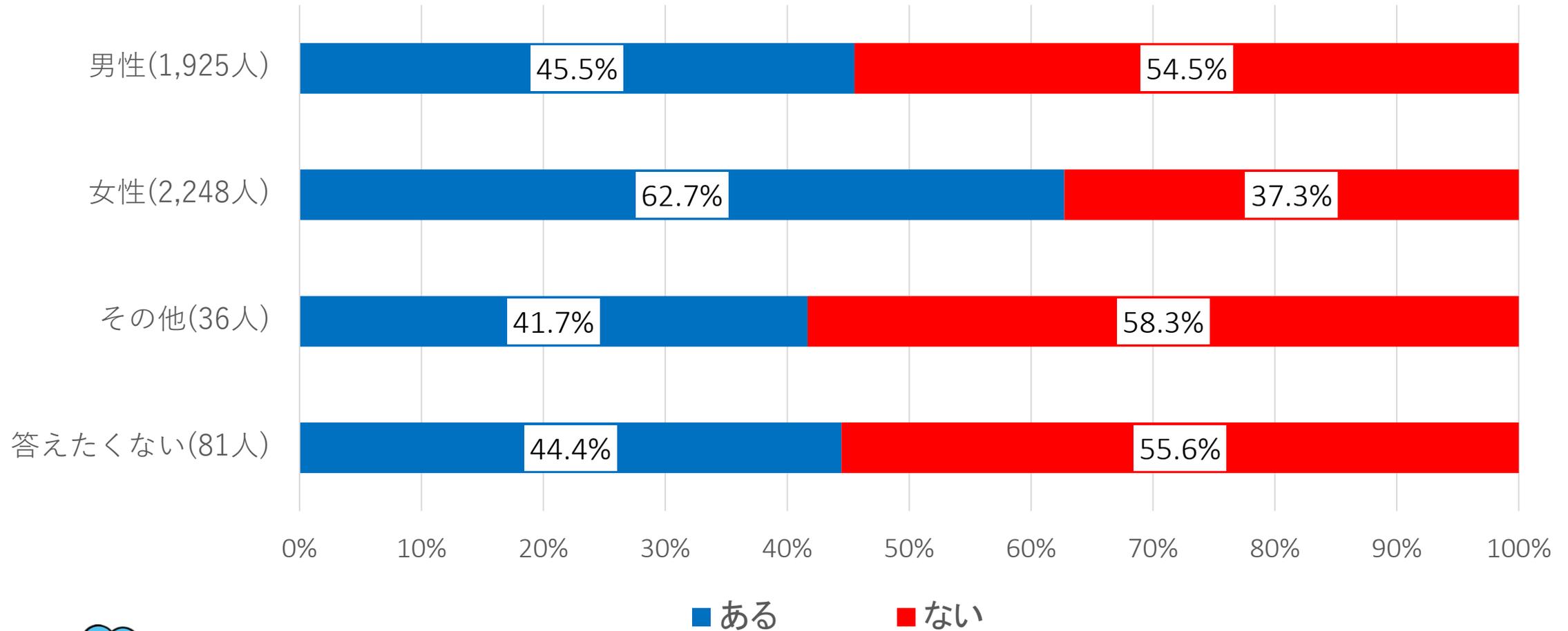


ボランティア活動の興味	回答数 (人)
ある	2,337
ない	1,953
合計	4,290

ボランティア活動への興味は、「ある」が54.5%であり、全国調査では、「興味がある」が62.2%となっており、比較すると7.7ポイント低い。
(ただし全国調査の対象は、18歳以上であり、かつ高校生は調査対象外)

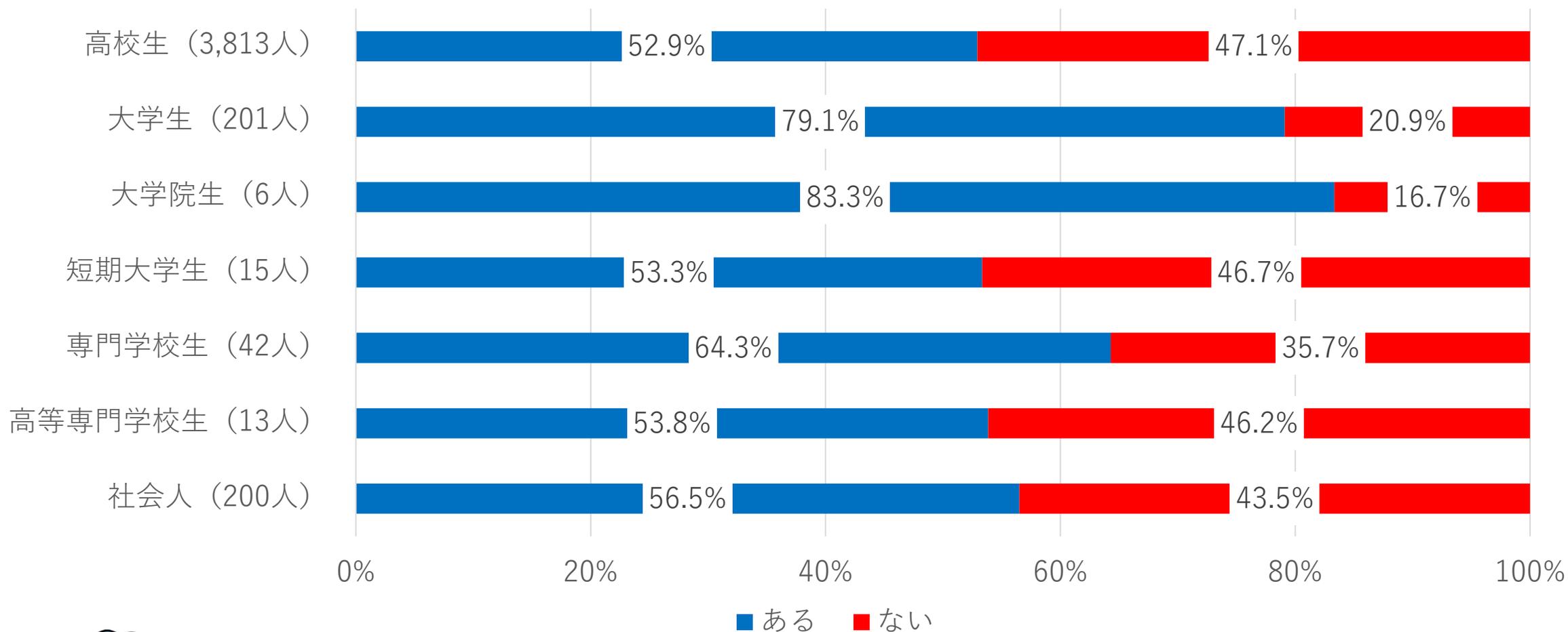


【ボランティア活動への興味】（性別ごと）



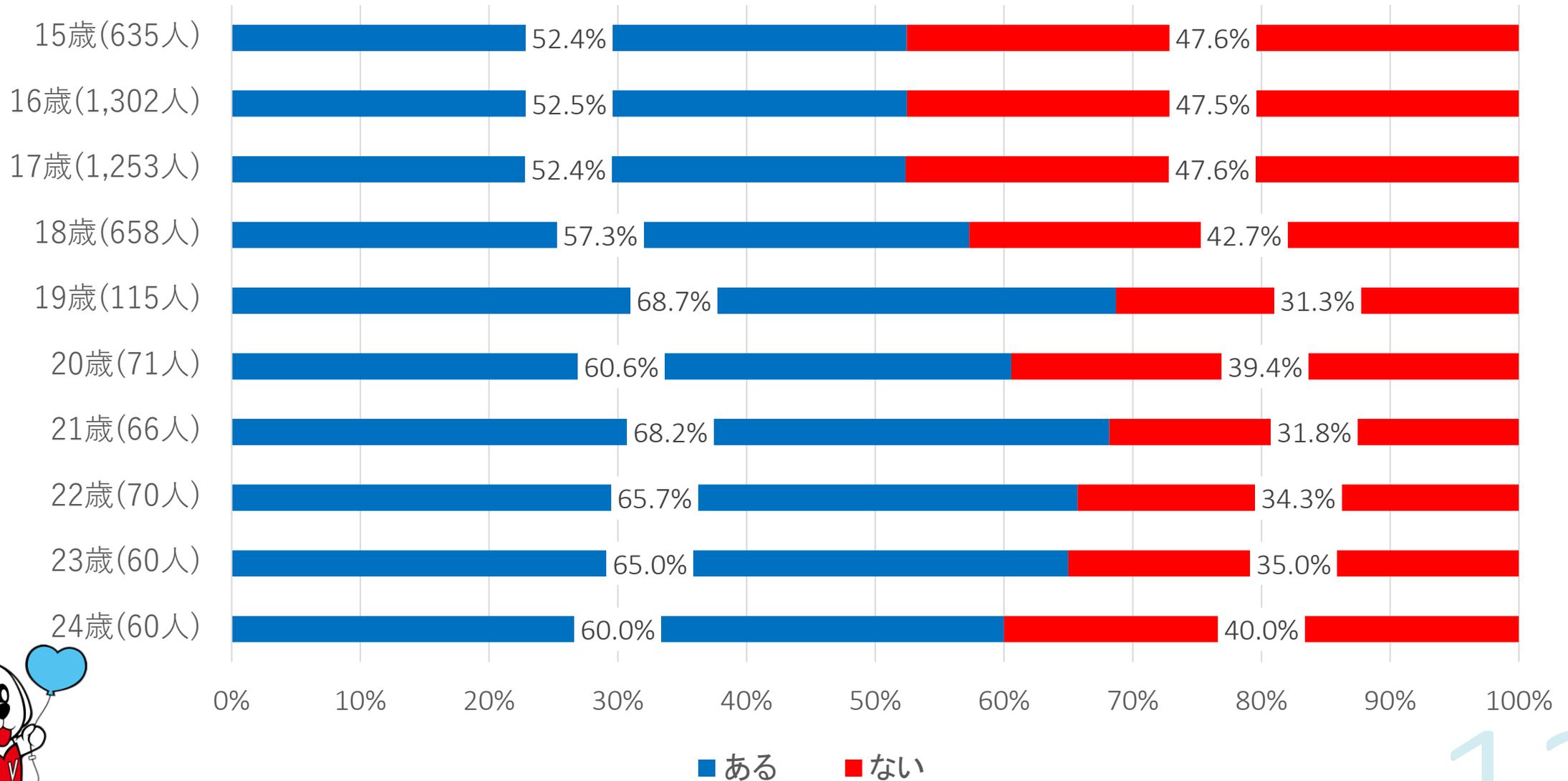
性別ごとにみると、ボランティア活動への興味は、女性の方が高い。

【ボランティア活動への興味】（職業ごと）



ボランティア活動への興味は、高校生で52.9%と最も低く、大学生・大学院生で約80%と高い。年齢からも15～17歳の興味の割合はほぼ同じで、他の年齢に比べて低い。

【ボランティア活動への興味】（年齢ごと）



【ボランティア活動への興味】まとめ

- ボランティア活動への興味は、全体の54.5%が「ある」と答えた。
- 性別ごとにみると、ボランティア活動への興味は、女性の方が高く、60%を超えている。一方で男性は、45.5%と女性より低い傾向にある。
- 全国調査では、「興味がある」が全体の62.2%となっており、比較すると本県の方が7.7ポイント低い。特に男性は、「興味がある」が半数を下回る。
- ボランティア活動への興味は、高校生で52.9%と最も低く、大学生・大学院生で約80%と高い。

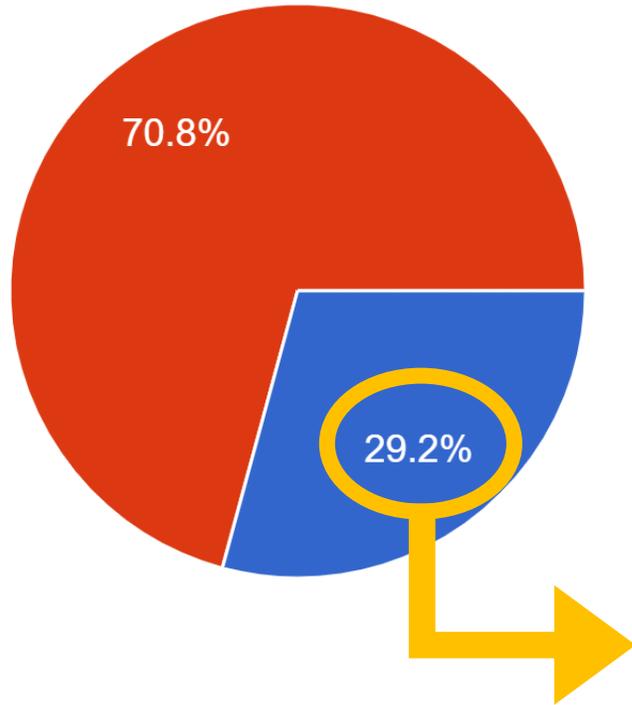


【ボランティア活動の経験】

質問3-1 昨年度1年間(令和5年度)で、ボランティア活動の経験はありますか。

4,290 件の回答

- ある
- ない

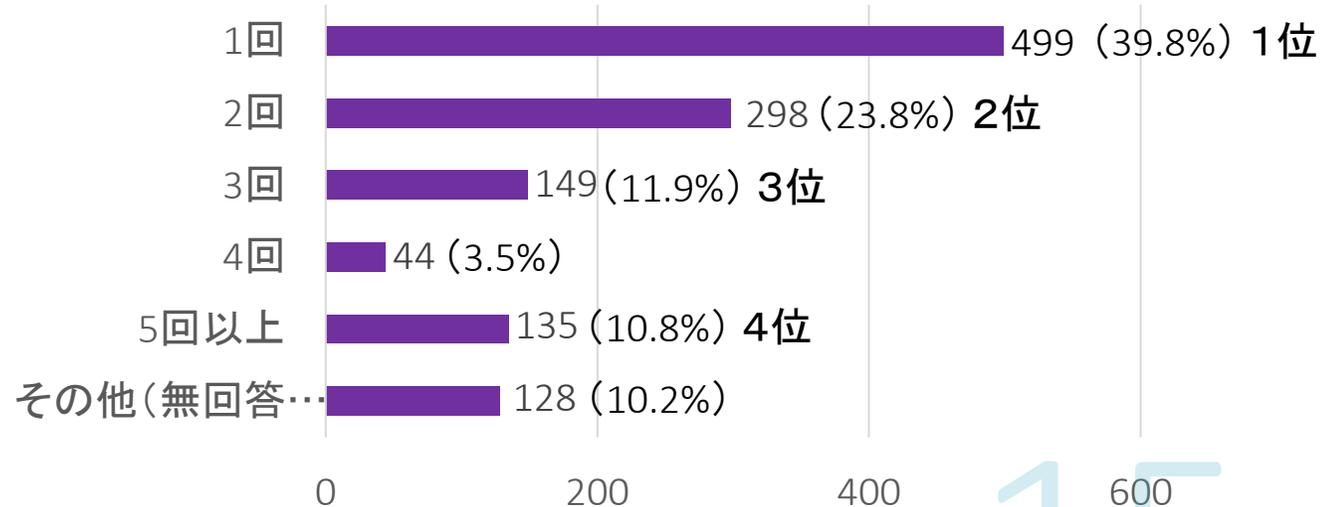


ボランティア活動の経験は、「ある」が29.2%、回数は「1回」が最も多い。また全国調査(24.7%)よりも高い。

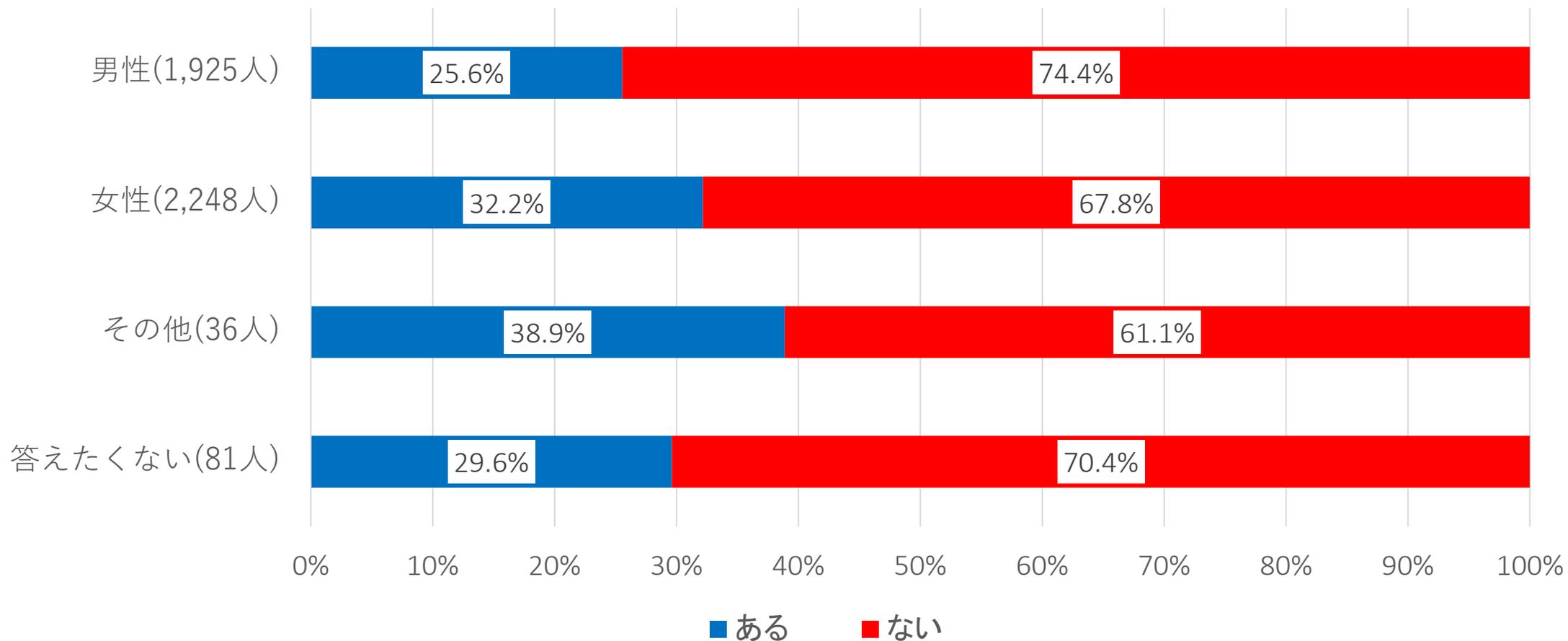


ボランティア活動の経験	回答数(人)
ある	1,253
ない	3,037
合計	4,290

質問3-2 「ある」と答えた方のボランティア活動回数

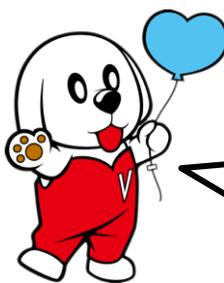
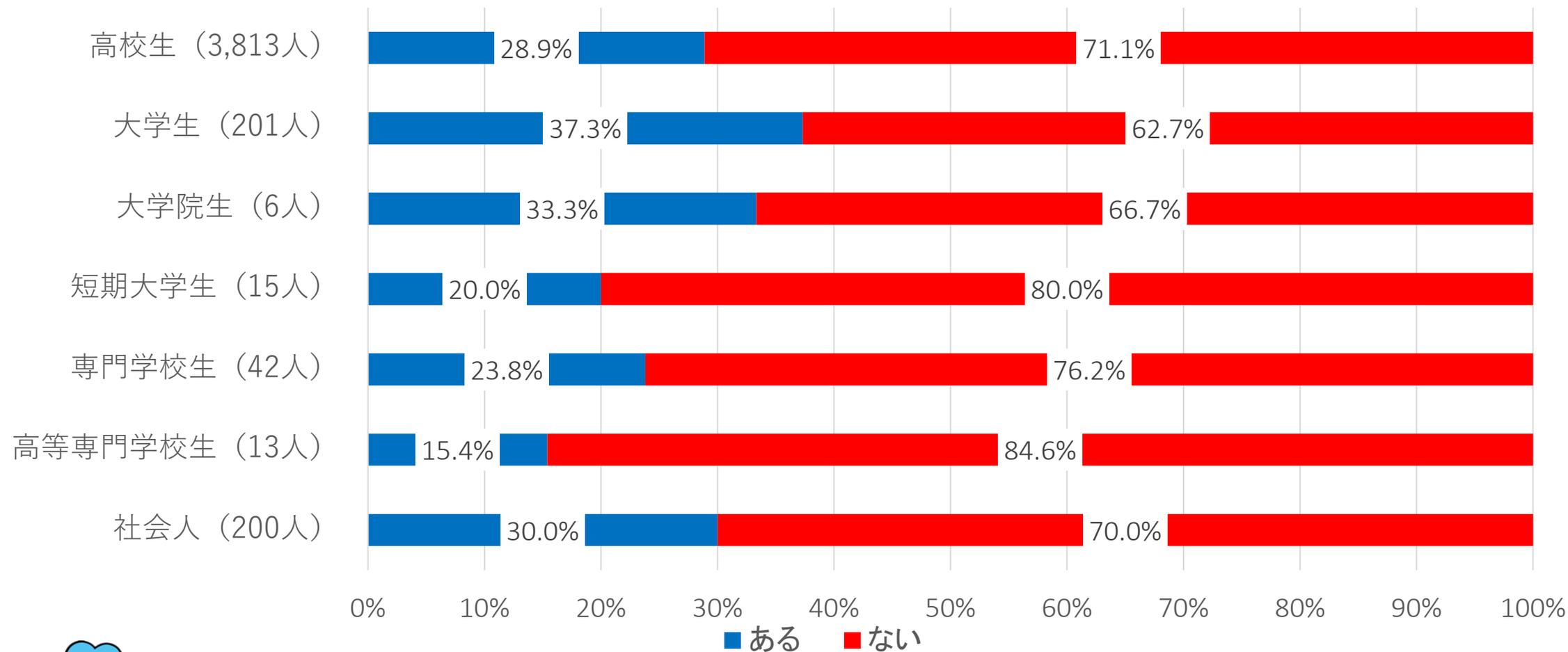


【ボランティア活動の経験】（性別ごと）



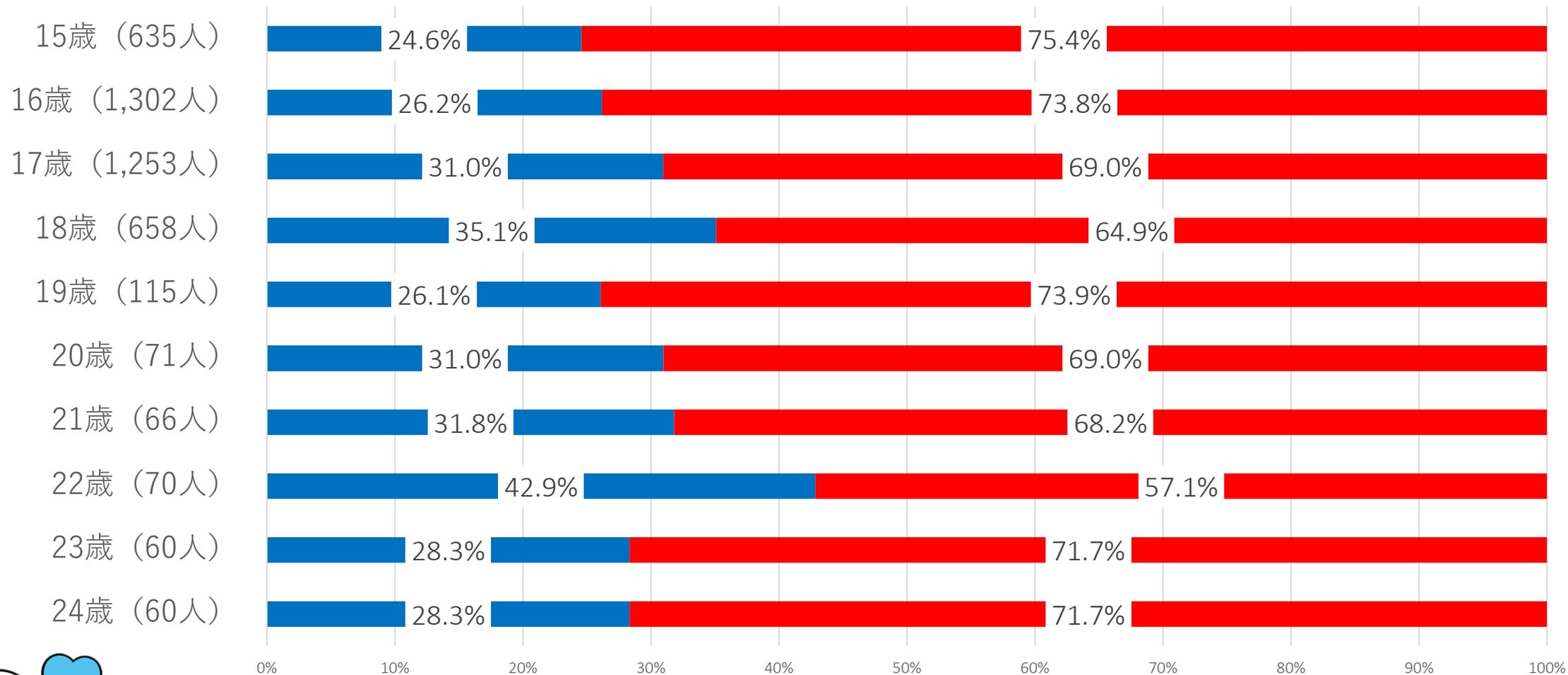
ボランティア活動の経験も、男性よりも女性の方が割合が高い。全国調査でも傾向は同様ながら、経験のある方の割合は男女とも全国（男性21.4%、女性28.2%）よりも高い。

【ボランティア活動の経験】（職業ごと）



ボランティア活動の経験は、大学生・大学院生で35%前後、社会人で30%、高校生で28.9%となっている。年齢では18歳、22歳の方で前年度（17歳時、21歳時）に活動した方が多い。

【ボランティア活動の経験】（年齢ごと）



■ ある ■ ない

【ボランティア活動の経験】まとめ

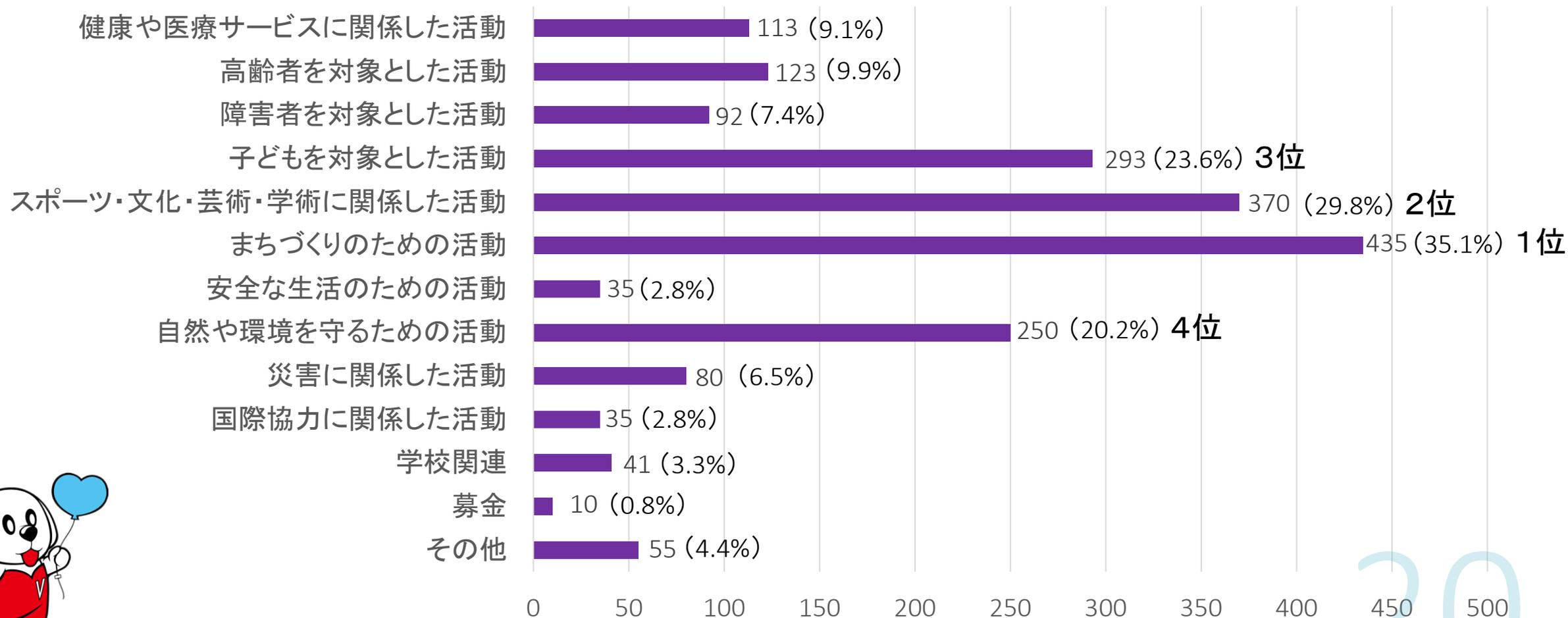
- 昨年度1年間（令和5年度）でのボランティア活動の経験は、「ある」が29.2%、回数では「1回」が最も多い。また全国調査（24.7%）よりも高い。
- ボランティア活動の経験も、男性よりも女性の方が割合が高い。全国調査でも傾向は同様ながら、経験のある方の割合は男女とも全国（男性21.4%、女性28.2%）よりも高い。
- ボランティア活動の経験は、大学生・大学院生で35%前後、社会人で30%、高校生で28.9%となっている。
- 年齢では18歳、22歳の方で前年度（17歳時、21歳時）にボランティア活動を経験した方が多い。
→学年にすると高校2年生や大学3年生の時に活動を経験したことになるが、進路選択や就職に向けて動き出す時期と重なり、社会への関心の高まりや時間の確保のしやすさも影響していると思われる。



【ボランティア活動の内容】

質問4 質問3-1で「ある」と答えた方にお聞きします。ボランティア活動の内容は何ですか。(複数回答)

1,240 件の回答



【ボランティア活動の内容】全国との比較

- 本県の若者で昨年度1年間におけるボランティア活動の内容は、
 - 1位 まちづくりのための活動
 - 2位 スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動
 - 3位 子どもを対象とした活動
 - 4位 自然や環境を守るための活動

- 全国調査での過去1年間におけるボランティア活動の内容は、
 - 1位 子どもを対象とした活動
 - 2位 スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動
 - 3位 まちづくりのための活動
 - 4位 自然や環境を守るための活動



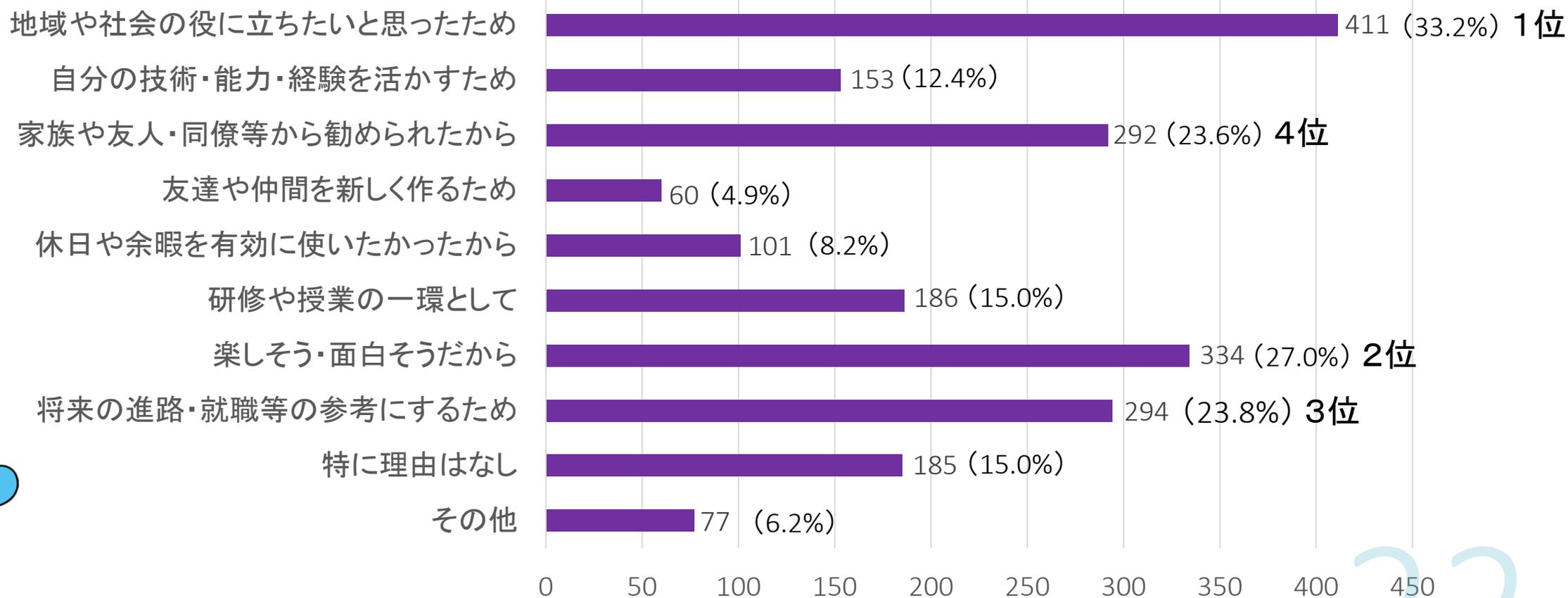
本県と全国を比較すると、順位の違いはあるが多く参加されている活動の内容は同じ。
本県ではまちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、まちおこしなど）が1位となった。

【ボランティア活動に参加した理由】

質問5 質問3-1で「ある」と答えた方にお聞きします。

ボランティア活動に参加しようと思ったきっかけや理由は何ですか。(複数回答)

1,237 件の回答

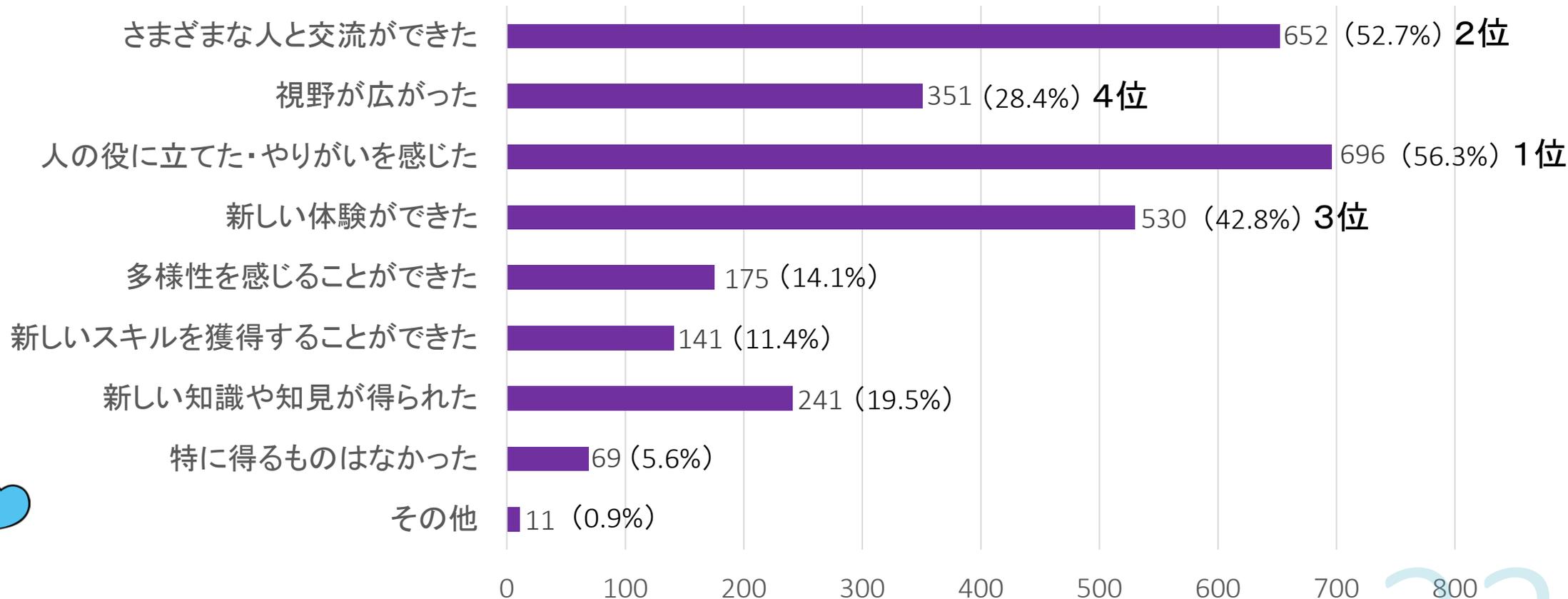


【ボランティア活動から得られたこと】

質問6 質問3-1で「ある」と答えた方にお聞きします。

参加したボランティア活動から得られたものは何ですか。(複数回答)

1,237 件の回答



【ボランティア活動に参加した理由・得られたこと】まとめ

- 本県の若者でボランティア活動に参加した理由は、
 - 1位 地域や社会の役に立ちたいと思ったため
 - 2位 楽しそう・面白そうだから
 - 3位 将来の進路・就職等の参考とするため
 - 4位 家族や友人・同僚等から勧められたから
- ボランティア活動から得られたことは、
 - 1位 人の役に立てた・やりがいを感じた
 - 2位 さまざまな人と交流ができた
 - 3位 新しい体験ができた
 - 4位 視野が広がった

参加した理由では、「地域や社会の役に立ちたいと思った」が33.2%、「楽しそう・面白そう」が27.0%であった。

活動から得られたことでは、「人の役に立てた・やりがいを感じた」が56.3%、「さまざまな人との交流ができた」が52.7%、「新しい経験ができた」が42.8%であった。

「興味本位」や「進路・就職等の参考」というきっかけも多いが、結果的に活動者の半数が「人の役に立てたこと」、「人との交流」、「新しい経験」が得られたと回答している。

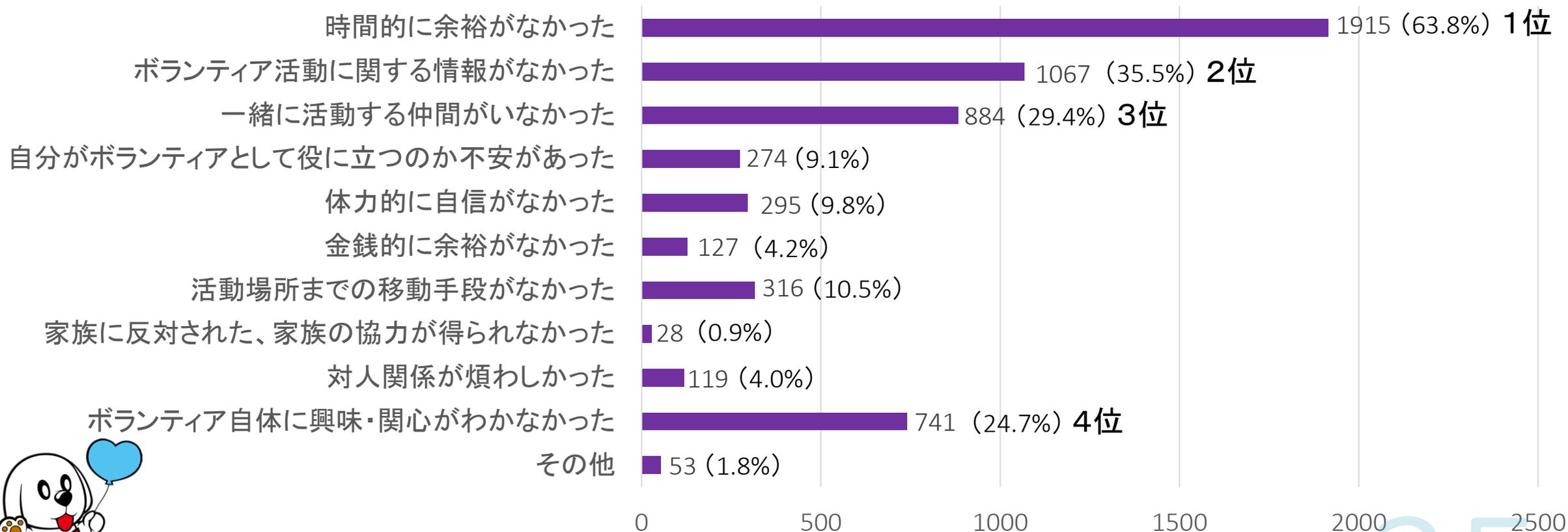


【ボランティア活動の経験がない理由】（全体）

質問7 質問3-1で「ない」と答えた方にお聞きします。

ボランティア活動の経験がない理由は何ですか。（複数回答）

3,003 件の回答



【ボランティア活動の経験がない理由】（職業別）

高校生のボランティア活動の経験がない理由（2712人）

大学生・院生・短大生のボランティア活動の経験がない理由（142人）

0 1000 2000

0 50 100

時間的に余裕がなかった 1709 (63.0%) 1位

時間的に余裕がなかった 94 (66.2%) 1位

ボランティア活動に関する情報がなかった 938 (34.6%) 2位

ボランティア活動に関する情報がなかった 47 (33.1%) 3位

一緒に活動する仲間がなかった 792 (29.2%) 3位

一緒に活動する仲間がなかった 49 (34.5%) 2位

自分がボランティアとして役に立つのか不安があった 253 (9.3%)

自分がボランティアとして役に立つのか不安があった 10 (7.0%)

体力的に自信がなかった 270 (10.0%)

体力的に自信がなかった 9 (6.3%)

金銭的に余裕がなかった 115 (4.2%)

金銭的に余裕がなかった 7 (4.9%)

活動場所までの移動手段がなかった 294 (10.8%)

活動場所までの移動手段がなかった 12 (8.5%)

家族に反対された、家族の協力が得られなかった 27 (1.0%)

家族に反対された、家族の協力が得られなかった 1 (0.7%)

対人関係が煩わしかった 113 (4.2%)

対人関係が煩わしかった 3 (2.1%)

ボランティア自体に興味・関心がわかなかった 684 (25.2%) 4位

ボランティア自体に興味・関心がわかなかった 18 (12.7%) 4位

その他 48 (1.8%)

その他 1 (0.7%)



高専・専門学校生のボランティア活動の 経験がない理由(43人)

社会人のボランティア活動の 経験がない理由(140人)

0 10 20 30

0 50 100

時間的に余裕がなかった 22 (51.2%) **1位**

時間的に余裕がなかった 90 (64.3%) **1位**

ボランティア活動に関する情報がなかった 22 (51.2%) **1位**

ボランティア活動に関する情報がなかった 60 (42.9%) **2位**

一緒に活動する仲間がいなかった 9 (20.9%) **3位**

一緒に活動する仲間がいなかった 34 (24.3%) **3位**

自分がボランティアとして役に立つのか不安があった 2 (4.7%)

自分がボランティアとして役に立つのか不安があった 9 (6.4%)

体力的に自信がなかった 5 (11.6%) **4位**

体力的に自信がなかった 11 (7.9%)

金銭的に余裕がなかった 0

金銭的に余裕がなかった 5 (3.6%)

活動場所までの移動手段がなかった 4 (9.3%)

活動場所までの移動手段がなかった 6 (4.3%)

家族に反対された、家族の協力が得られなかった 0

家族に反対された、家族の協力が得られなかった 0

対人関係が煩わしかった 0

対人関係が煩わしかった 3 (2.1%)

ボランティア自体に興味・関心がわかなかった 5 (11.6%) **4位**

ボランティア自体に興味・関心がわかなかった 34 (24.3%) **3位**

その他 0

その他 4 (2.9%)



【ボランティア活動の経験がない理由】まとめ①

- 本県の若者でボランティア活動の経験がない理由は、
 - 1位 時間的に余裕がなかった
 - 2位 ボランティア活動に関する情報がなかった
 - 3位 一緒に活動する仲間がいなかった
 - 4位 ボランティア自体に興味・関心がわかなかった

〈参考〉福井県「令和3年度 県民の社会貢献活動に関する調査」結果での、
18歳～24歳のボランティア活動の経験がない理由

- 1位 活動場所や内容等、ボランティア情報がわからない
- 2位 時間的に余裕がない
- 3位 新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動を自粛した
- 3位 いっしょに活動する仲間がない



昨年度1年間でボランティア活動の経験がない方の63.8%は、「時間的に余裕がなかった」ことを理由にあげている。次いで、「活動に関する情報がなかった」こと、「一緒に活動する仲間がいなかった」ことがあげられている。

【ボランティア活動の経験がない理由】まとめ②

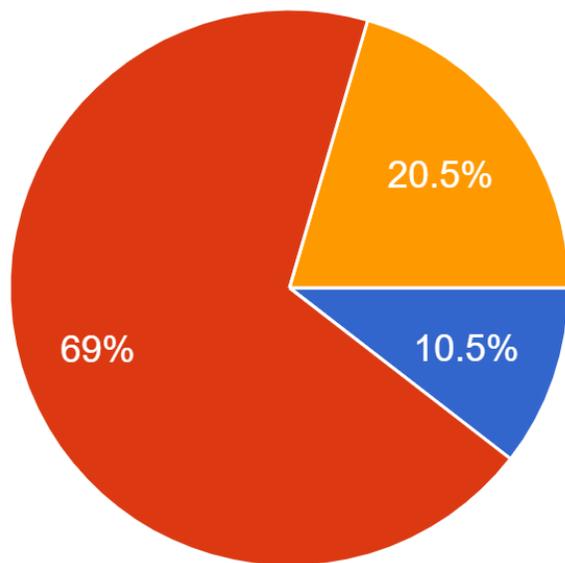
- ボランティア活動の経験がない理由として、どの職業においても「時間的に余裕がなかった」が1位となっている。
- 実際に、学生は学業や部活にバイト、社会人は仕事や家事、余暇活動で忙しいことも想定されるが、すき間時間や休日等で時間ができたとしても、SNSやインターネット、ゲーム等で時間をつぶせることや「押し活」等による過ごし方の多様化も影響していると考えられる。
- 「ボランティア活動にかける時間」の優先度や充実度をいかに高めていくかが今後の課題となる。



【今後のボランティア活動の参加意向】

質問8-1 今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。当てはまるもの1つをお答えください。

4,290 件の回答



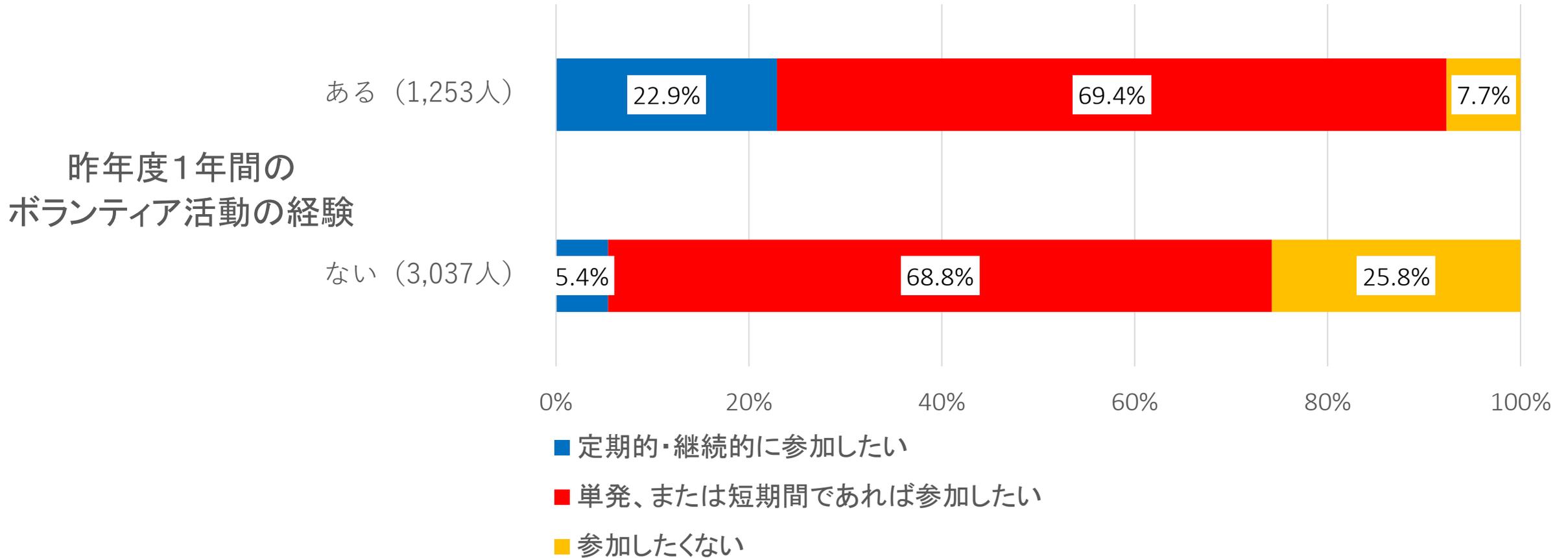
- 定期的・継続的に参加したい
- 単発、または短期間であれば参加したい
- 参加したくない

今後ボランティア活動に参加したいか	回答数（人）
定期的・継続的に参加したい	451
単発、または短期間であれば参加したい	2,960
参加したくない	879
合計	4,290

今後のボランティア活動の意向については、単発であれ、定期的であれ、「参加したい」が79.5%と、参加意欲は高い。



【今後のボランティア活動の参加意向】過去の経験の有無とのクロス集計



今後のボランティア活動の意向と過去の活動経験の有無との関連をみると、「単発、または短期間で参加したい」の割合では違いはみられないが、活動経験のある方で「定期的・継続的に参加したい」という意向をもつ方は、活動経験のない方に比べて割合にして4倍多いという結果になった。

【今後のボランティア活動について】まとめ

- 活動経験のある方で「定期的・継続的に参加したい」という意向をもつ方は、活動経験のない方に比べて割合にして4倍多いという結果になった。
- 逆に、今後「参加したくない」と答えた方は、活動経験がある方では、7.7%だったのに対し、活動経験がない方では25.8%であった。
- これらから、活動経験がある方は、今後のボランティア活動の意欲が高まること、「定期的・継続的な参加」の意欲をもつ割合も高くなることがわかった。
- よって、動機はどうあれ、まずは若者にボランティア活動を一度でも体験してもらうことに重点をおいた取組みが必要である。



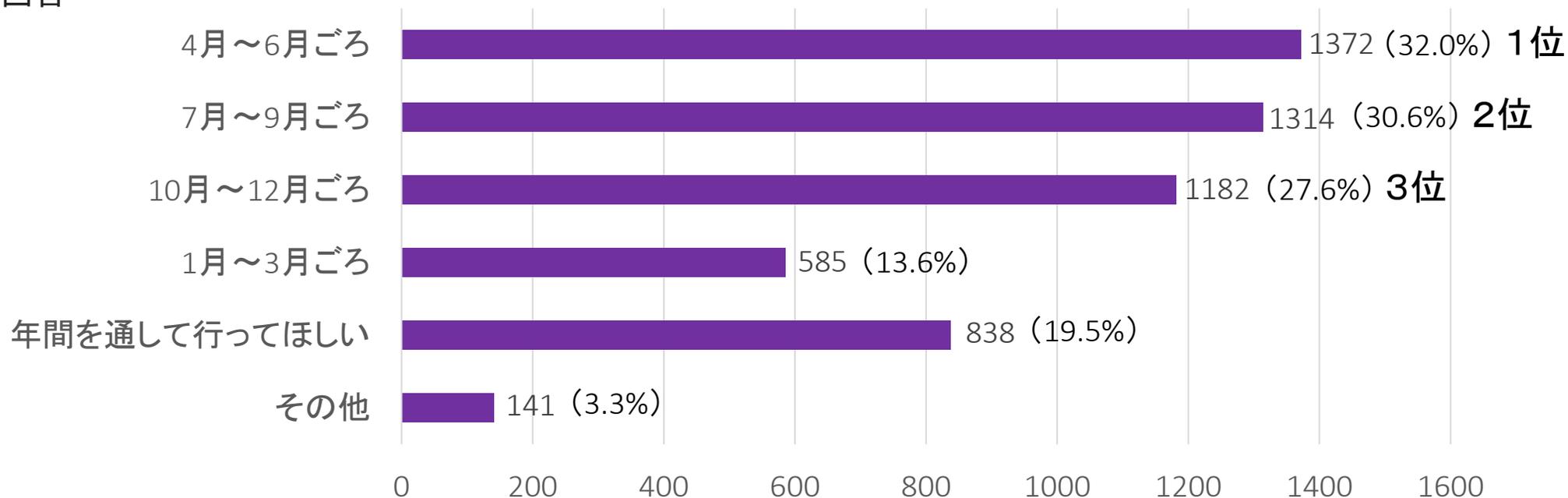
ボランティア活動を実際に体験することで、ボランティア活動に対する意識や考え方がプラスなイメージに変化する若者が多いことがわかった。

【ボランティア体験事業の体験時期の希望】

本会では、ボランティア活動のきっかけづくりとして、福祉施設等からボランティアの活動プログラムを募集し、7月～9月にかけて、体験希望者と活動先の調整を行う業務を行っている。

質問9-1 ボランティア体験を行う時期はいつごろだと参加しやすいと思われますか。(複数回答)

4,290 件の回答



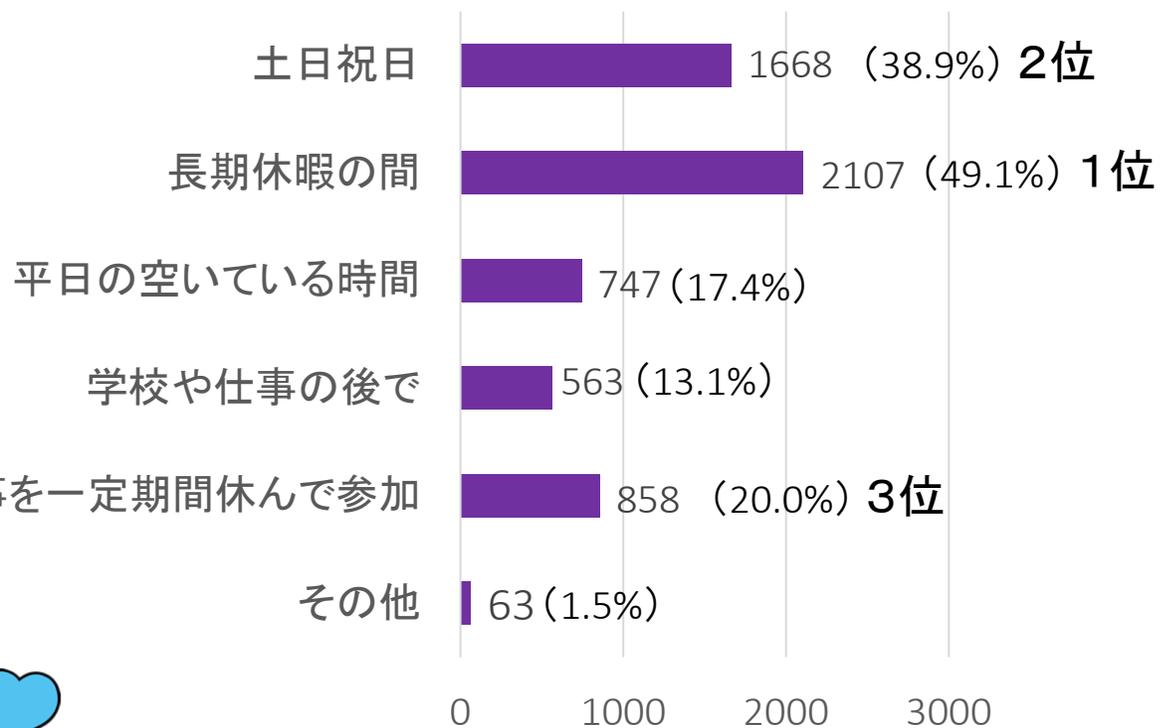
ボランティア体験で参加のしやすい時期については、「4月～6月」と「7月～9月」が約30%とほぼ同じ割合。



【ボランティア体験事業の体験日時の希望】

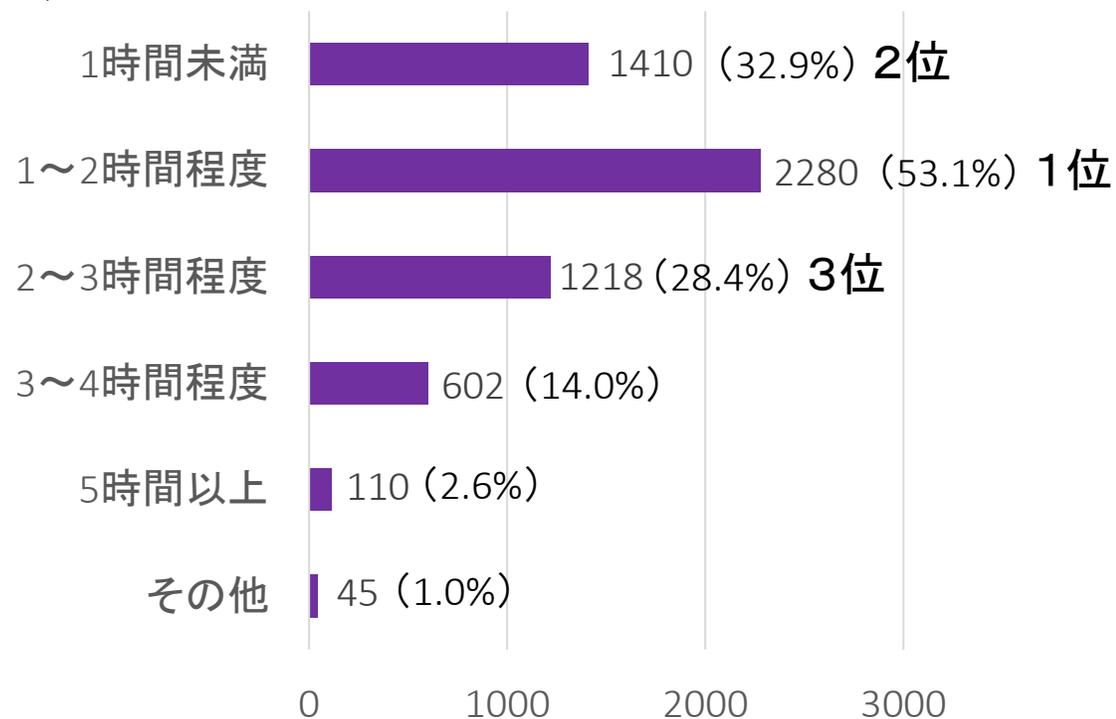
質問9-2 ボランティア活動をする場合どの時間を使って活動したいと思われますか。
(複数回答)

4,290 件の回答



質問9-3 ボランティア活動をする場合1回あたりの時間はどのくらいだと活動しやすいですか。
(複数回答)

4,290 件の回答



ボランティア体験で参加のしやすい時間帯については、「長期休暇」や「土日祝日」で「1~2時間程度」という回答が多かった。

【ボランティア体験事業の体験希望時期・日時】まとめ

- 1回あたりの活動時間の希望を見ると、「1時間～2時間程度」や「1時間未満」と、短時間の活動を希望する若者が多い。
- しかし、本会の体験事業では、半日、もしくは1日の活動時間を設けている施設・団体が多い。
- ボランティアを受け入れる施設・団体側からは、あまりに短時間の活動は、施設・団体の概要や活動内容、活動上の注意事項の説明だけで終わってしまい、実質的な活動ができないとの声も聞かれ、受入側と活動側で希望する活動時間のギャップがみられる。
- 活動のきっかけづくりとしては、短時間の活動があることが若者の参加につながることも期待され、その次のステップとして活動経験を積むことで継続した活動（長時間の活動）につながっていくものと考えられる。



【ボランティア体験事業について】活動先と活動内容の種類

質問9-4 ボランティア体験は、下記のような活動先と活動内容でボランティアの体験を行っております。
体験内容についてお聞きします。

【活動先】

- ①高齢者福祉施設(特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・認知症グループホーム等)
- ②障がい児・者福祉施設(生活介護事業所・自立訓練事業所・放課後等デイサービス等)
- ③児童福祉施設(認定こども園・保育園・児童館・児童センター)
- ④地域活動団体(社会福祉協議会・こども食堂・NPO法人等)

【活動内容】

- ①集団で行うゲームや体操の補助
- ②利用者との交流
- ③利用者の見守り
- ④食事等の身の回りの介助
- ⑤清掃
- ⑥散歩や遊びの補助
- ⑦創作活動の補助
- ⑧学習支援
- ⑨イベントや行事のお手伝い
- ⑩一緒に食事やおやつを食べる

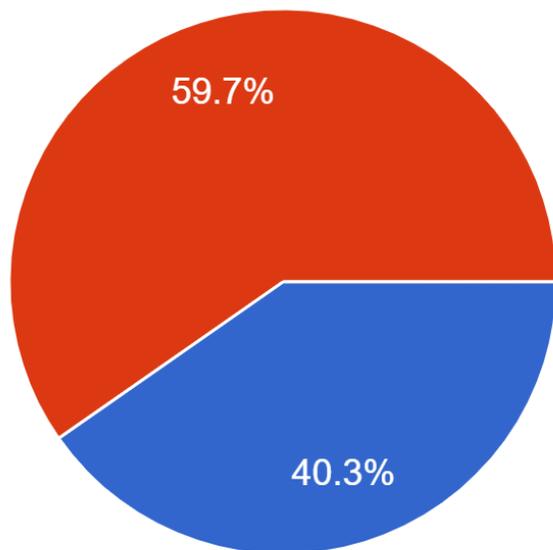


【ボランティア体験事業で参加したい活動先の有無】

質問9-4① 参加したい活動先・ボランティア活動はありますか。

4,290件の回答

- ある
- ない



参加したい活動先・ボランティア活動	回答数 (人)
ある	1,728
ない	2,562
合計	4,290

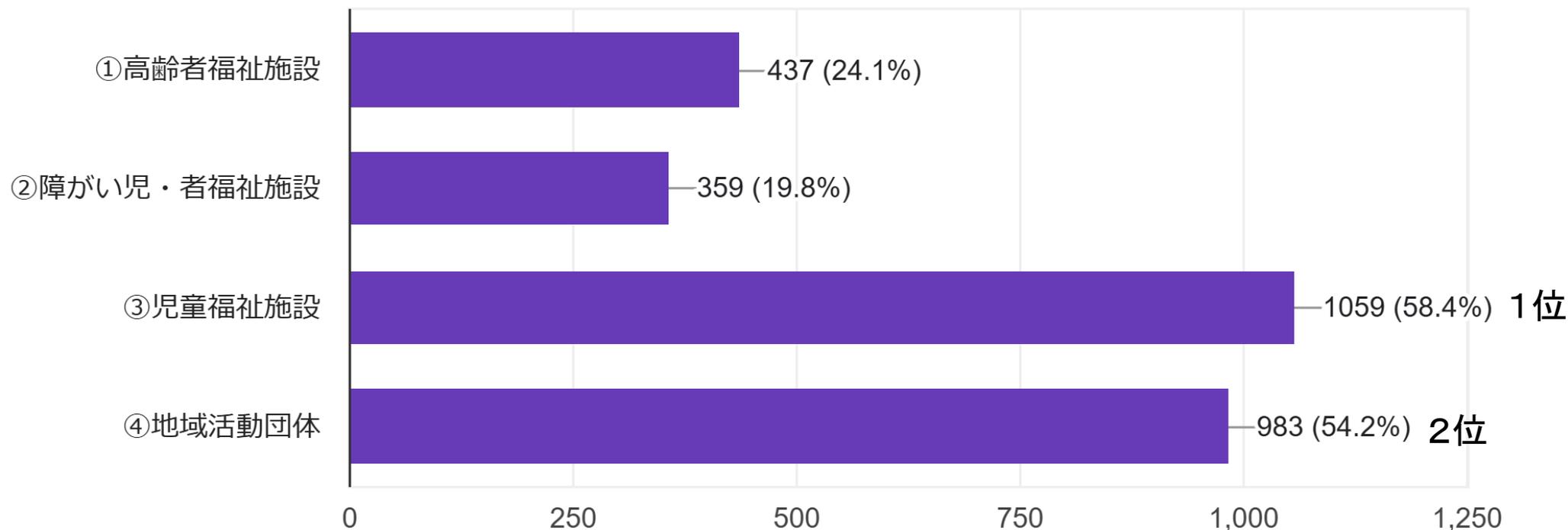


既存の活動先やボランティア活動について、「参加したい」活動が「ある」は、40.3%にとどまる。

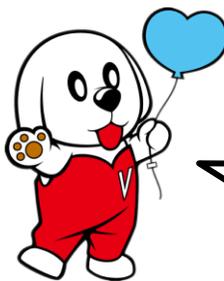
【ボランティア体験事業で参加したい活動先の種類】

質問9-4② 質問9-4①で「ある」と答えた方にお聞きします。活動先の番号を選んでください。
(複数回答)

1,812 件の回答



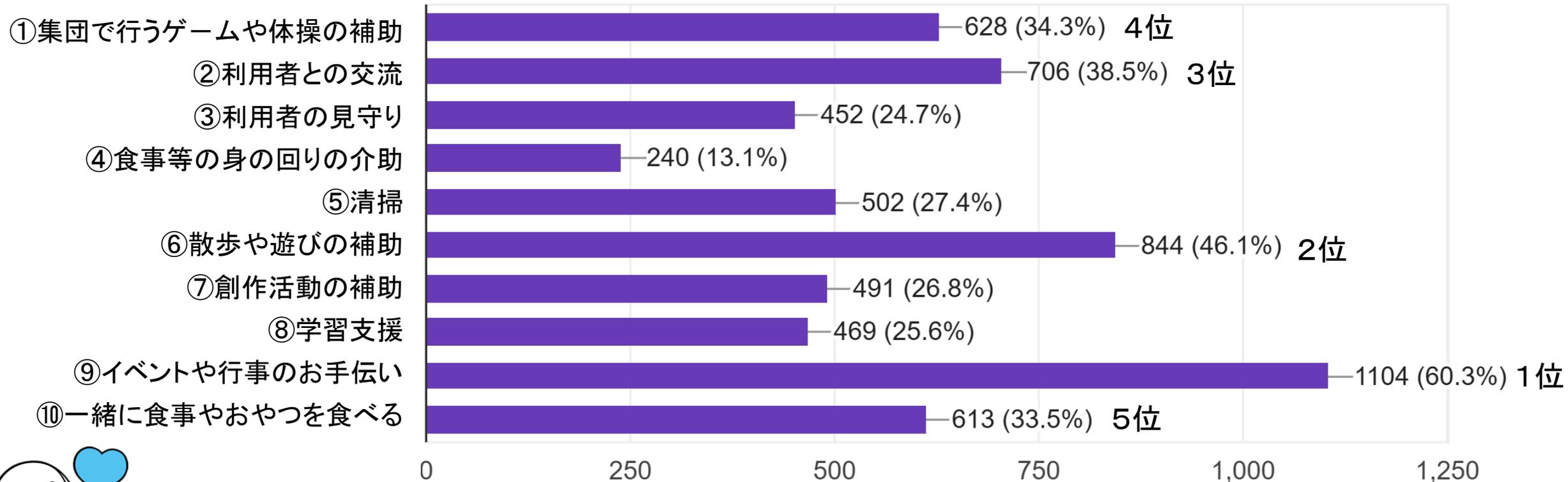
参加したい活動先としては、「児童福祉施設」と「地域活動団体」を50%以上の方が選んでいる。



【ボランティア体験事業で参加したい活動内容】

質問9-4③ 質問9-4①で「ある」と答えた方にお聞きします。ボランティア活動の番号を選んでください。
(複数回答)

1,832 件の回答



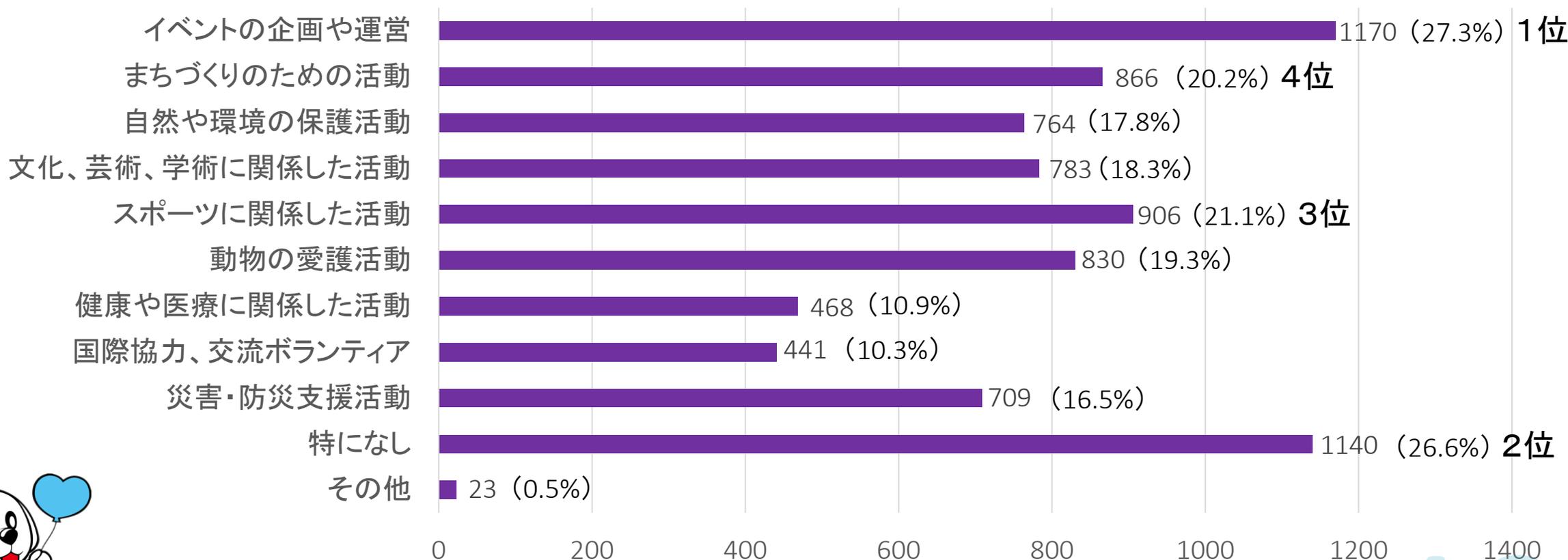
参加したい活動としては、「イベントや行事のお手伝い」が60%と最も多く、次いで「散歩や遊びの補助」、「利用者との交流」、「集団で行うゲームや体操の補助」、「一緒に食事やおやつを食べる」が多くなっている。



【ボランティア体験事業でやってみたい活動内容】

質問9-4④ 質問9-4に記載している活動以外で参加したい活動がございましたら、下記の中から選んでください。(複数回答)

4,290 件の回答



ボランティア体験の既存の活動以外で参加したい活動については、「イベントの企画や運営」が最も多く、次いで「特になし」、「スポーツに関連した活動」、「まちづくりのための活動」が多くなっている。

【ボランティア体験事業について】まとめ（体験内容）

- 本会が行っている「ボランティア体験事業」の既存の活動先や活動プログラムについて、「参加したい」活動が「ある」と答えた方は、40.3%にとどまる。
- そのうち参加したい活動先として、「児童福祉施設」と「地域活動団体」を50%以上の方が選んでいる。
- 参加したい活動プログラムとしては、「イベントや行事のお手伝い」が60%と最も多く、次いで「散歩や遊びの補助」、「利用者との交流」、「集団で行うゲームや体操の補助」、「一緒に食事やおやつを食べる」が多くなっている。
- また、体験事業以外での参加したい活動に関しては、「イベントの企画や運営」、「スポーツに関係した活動」、「まちづくりのための活動」などが多かった。

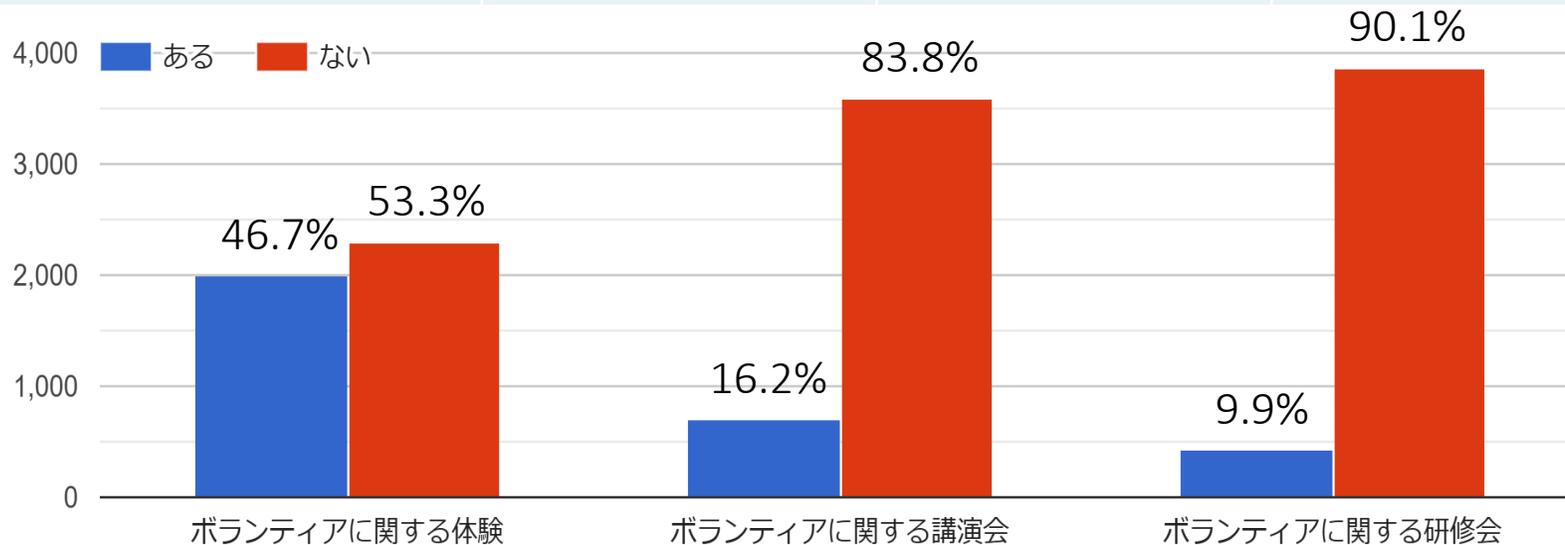


【学校行事でのボランティア体験、講演会、研修会への参加について】

質問10 あなたは今までに学校行事の一環として、ボランティアに関する体験、講演会、研修会などに参加したことはありますか。

4,290 件の回答

学校行事の一環で参加したことはあるか	体験 回答数（人）	講演会 回答数（人）	研修会 回答数（人）
ある	2,002	696	425
ない	2,288	3,594	3,865

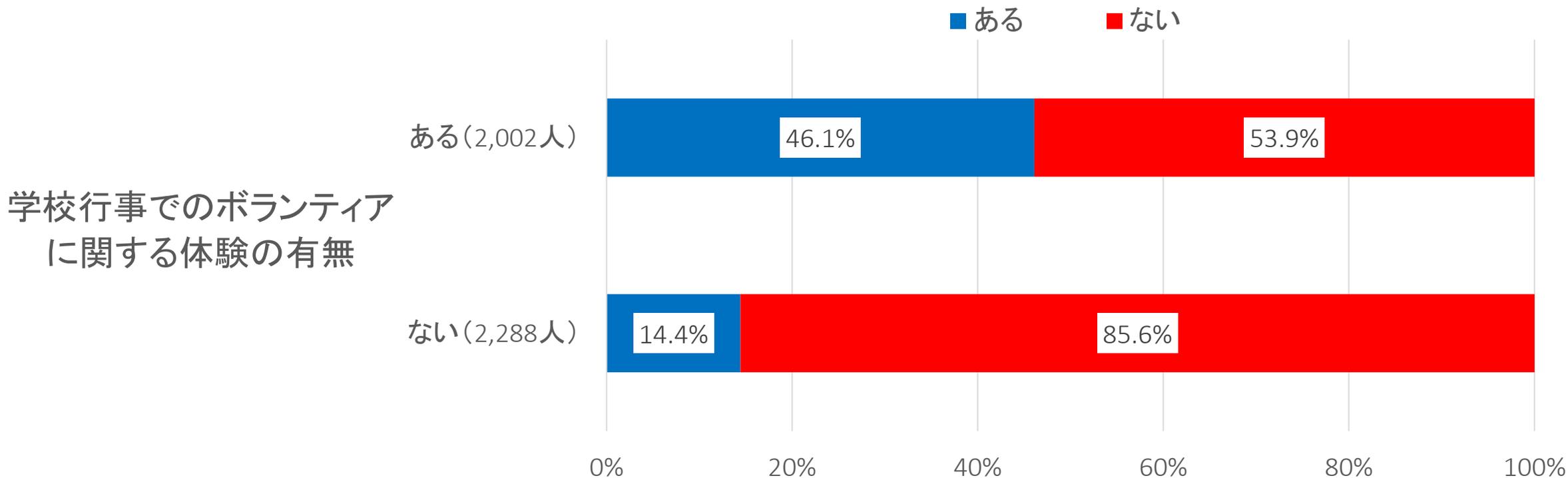


学校行事の一環で参加したことがあるものとしては、「ボランティア体験」が最も多い。



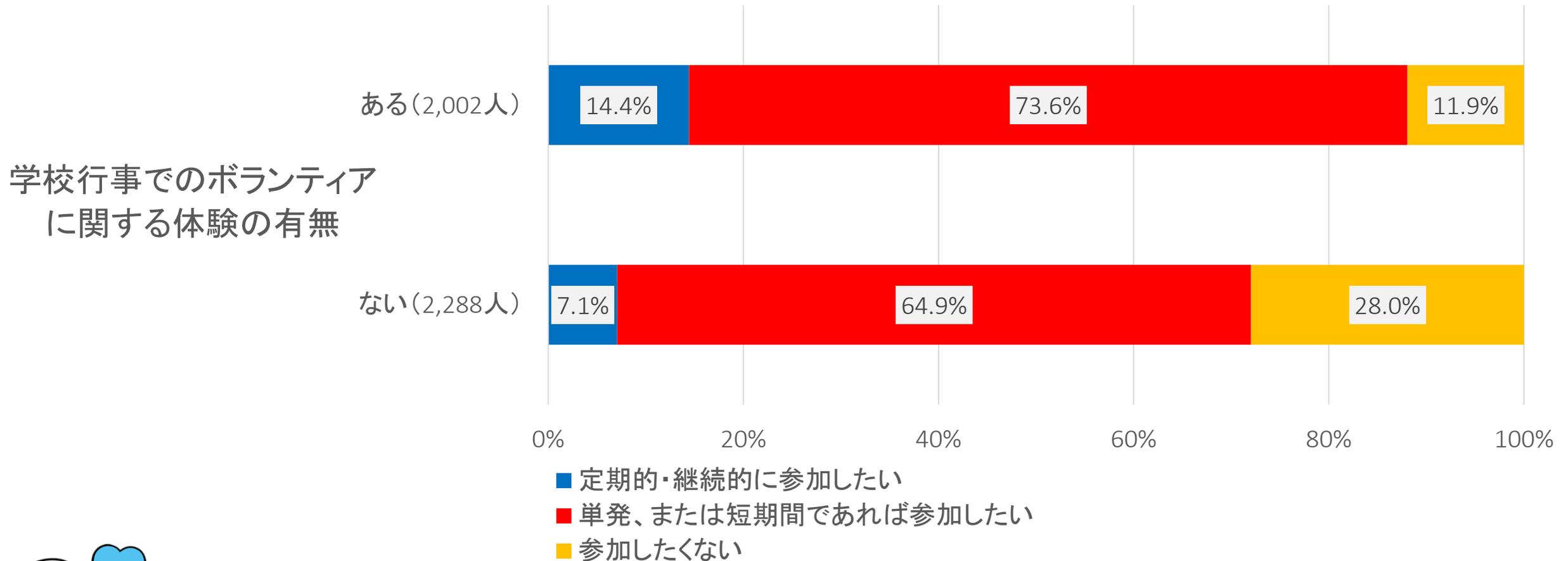
【学校行事でのボランティア体験の参加の有無と過去の体験】

昨年度1年間(令和5年度)で、ボランティア活動の経験の有無



今までに学校行事でのボランティア体験に参加したことがある方は、昨年度1年間においても何かしらのボランティア活動を経験している割合が高い。
もちろん、昨年度中に学校行事でのボランティア体験に参加したことをもって活動経験があると回答した若者もいると思われるが、学校行事での体験の有無はその後のボランティア活動にとって重要であると言える。

【学校行事でのボランティア体験の参加の有無と今後の活動意向】

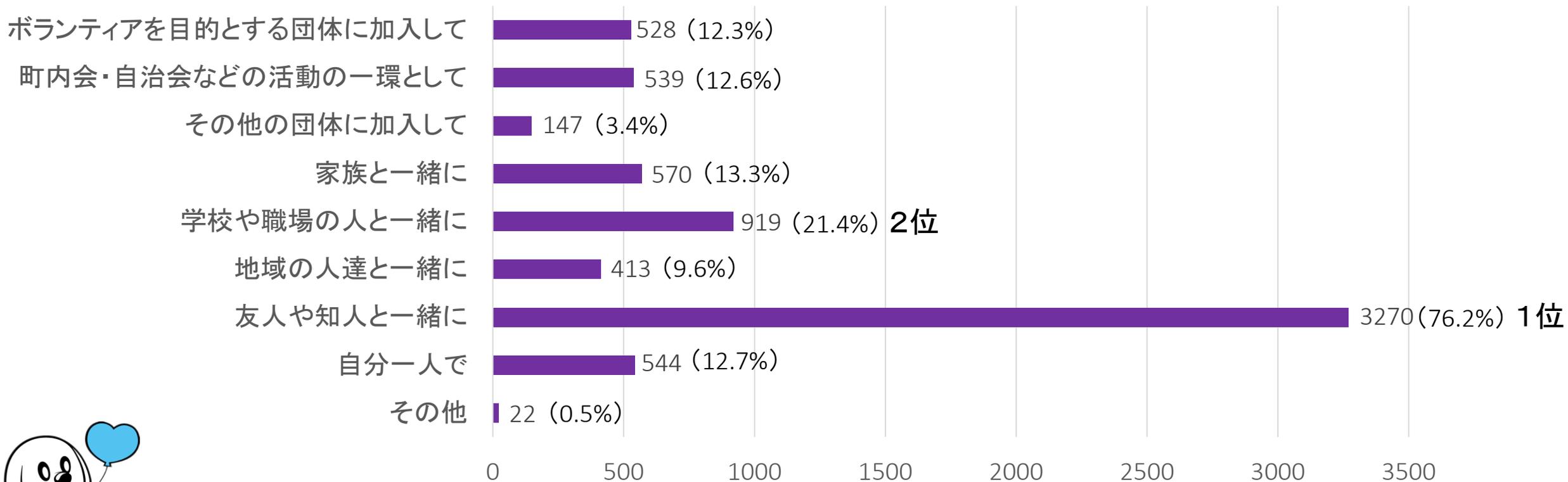


学校行事でのボランティア体験でも、今後のボランティア活動の意欲が高まること、「定期的・継続的な参加」の意欲をもつ割合も高くなることがわかった。

【ボランティア活動への参加のしかた】

質問11 ボランティア活動に参加する際は、どのように活動したいですか。(複数回答)

4,290 件の回答



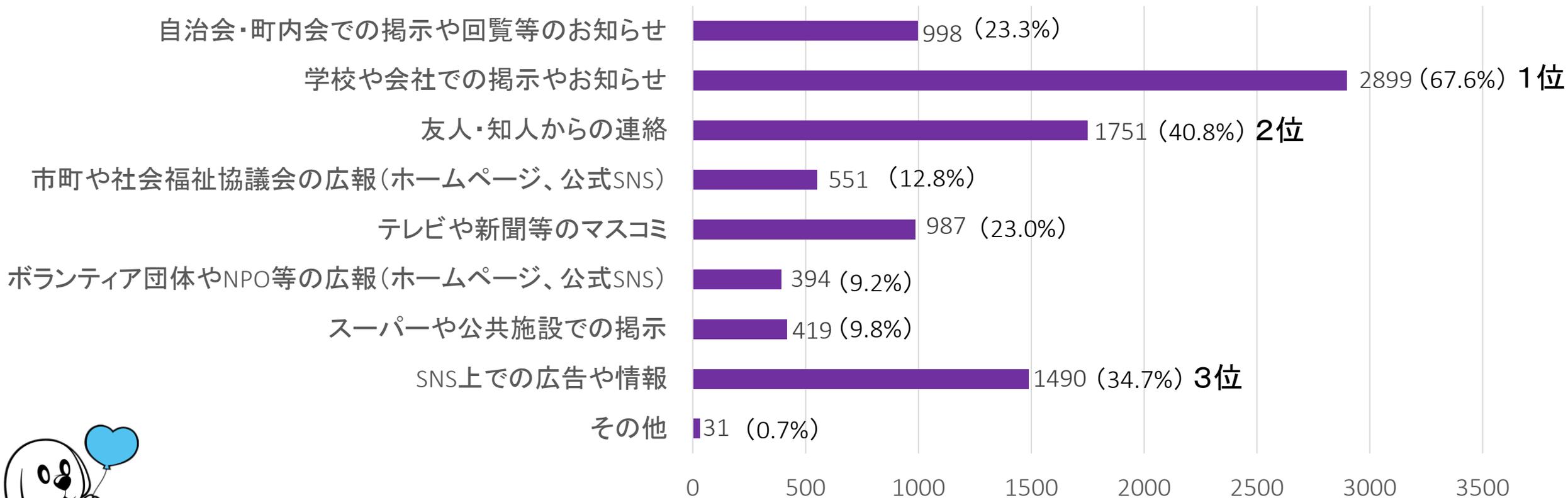
ボランティア活動への参加のしかたとして、「友人や知人と一緒に」が76.2%と最も多い。



【ボランティア活動の情報を得る手段】

質問12 ボランティア活動の情報を得る手段として、あなたにとって便利と思われるものは何ですか。
主なものを3つまで選んでください。

4,290 件の回答



情報を得る手段としては、「学校や会社での掲示やお知らせ」が67.6%と最も多く、次いで「友人・知人からの連絡」が40.8%、「SNS上での広告や情報」が34.7%となった。

【ボランティア活動への参加のしかた・情報を得る手段】まとめ

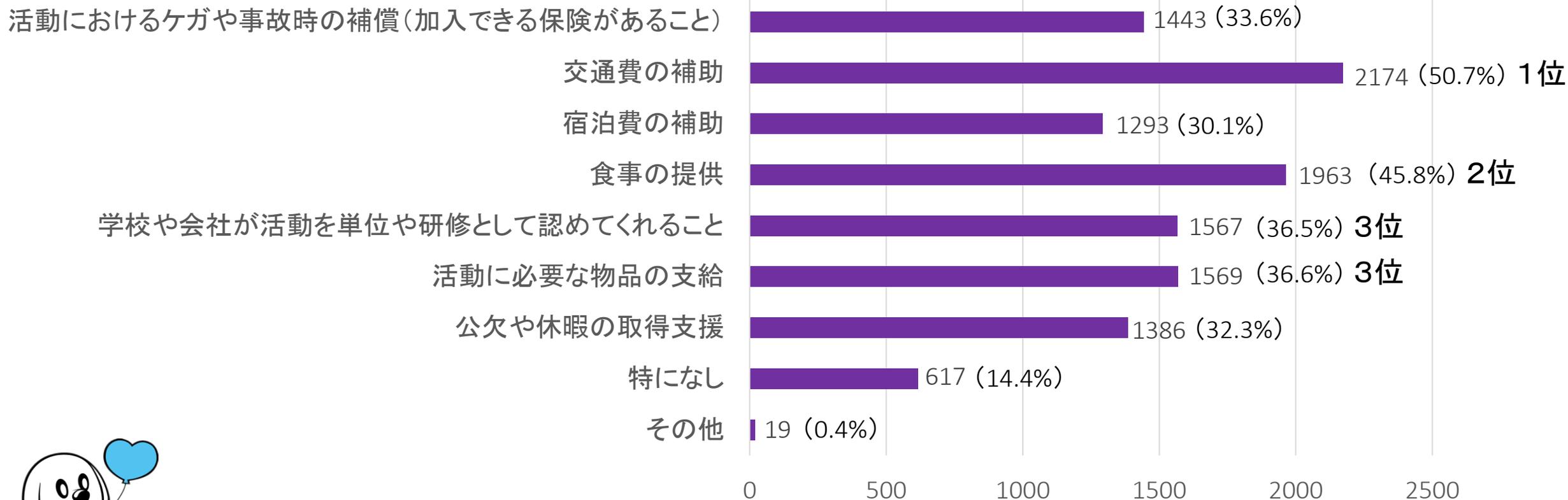
- ボランティア活動への参加のしかたとして、「友人や知人と一緒に」が76.2%と最も多く、次いで「学校や職場の人と一緒に」が21.4%となった。「自分一人で」参加することに関しては抵抗を感じる方が多い。
- ボランティア活動の情報を得る手段としては、「学校や会社での掲示やお知らせ」が67.6%と最も多く、次いで「友人・知人からの連絡」が40.8%、「SNS上での広告や情報」が34.7%となった。
- ボランティア活動に関する情報を提供する場合にも、情報を「誰かと一緒に」共有しやすい「学校や職場の掲示やお知らせ」が好まれたり、SNS等友人・知人間でのシェアのしやすさが重要になると思われる。
- ボランティアの募集においても、募集人数は「一人」よりも「複数名」、友人や知人を誘いやすい活動がより好まれると考えられる。



【ボランティア活動をする際に必要なサポート】

質問13 ボランティア活動する際に必要だと思うサポートはありますか。(複数回答)

4,290 件の回答



【ボランティア活動をする際に必要なサポート】まとめ

■ 本県の若者でボランティア活動する際に必要なサポートを見ると

- 1位 交通費の補助
- 2位 食事の提供
- ほぼ同率 { 3位 学校や会社が活動を単位や研修として認めてくれること
- { 3位 活動に必要な物品の支給

■ 全国調査での若者が活動する際に必要なサポートを見ると

- 1位 交通費の補助
- 2位 宿泊費の補助
- 3位 食事の提供
- 4位 保険の加入

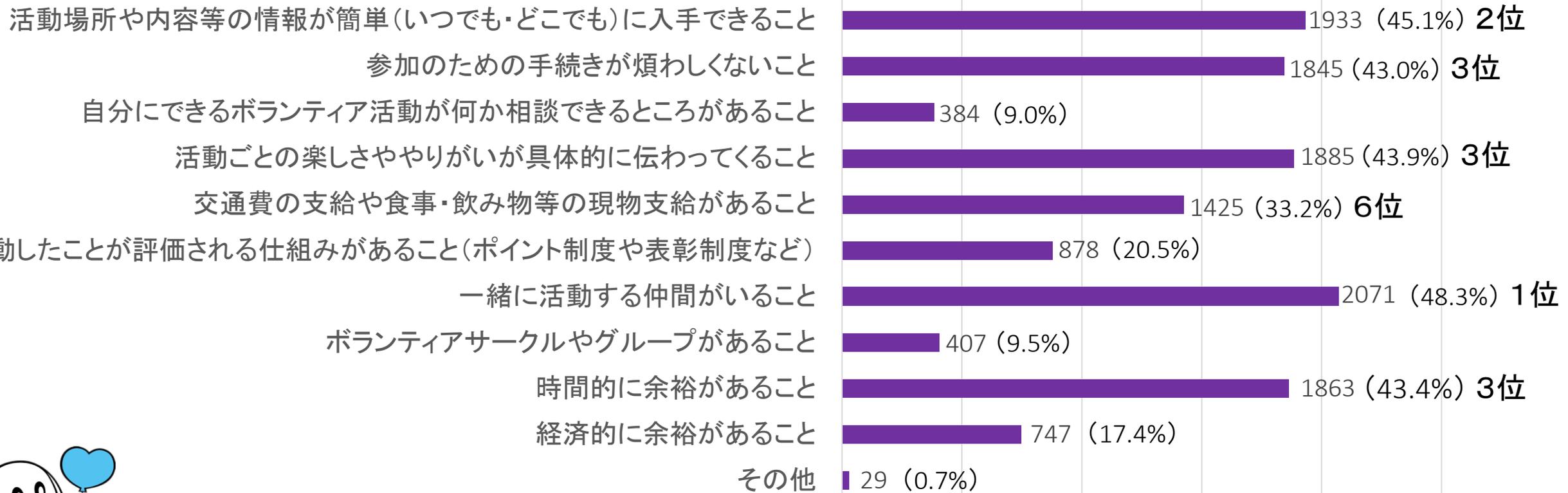


本県でも全国調査でも、ボランティア活動における「交通費」や「食事」、「宿泊費」、「活動に必要な物品の支給」といった自己負担が発生することに対するサポートが最も望まれている。

【ボランティア活動への参加意欲を高めるために必要なこと】

質問14 ボランティア活動への参加意欲を高めるために必要と思われることは何ですか。(複数回答)

4,290 件の回答



【ボランティア活動への参加意欲を高めるために必要なこと】まとめ

- 若者のボランティア活動の参加意欲を高めるために必要なものは
 - 1位 一緒に活動する仲間がいること
 - 2位 活動場所や内容等の情報が簡単に入手できること
 - 3位 参加のための手続きが煩わしくないこと
 - 3位 活動ごとの楽しさややりがい具体的に伝わってくること
 - 3位 時間的に余裕があること
 - 6位 交通費の支給や食事・飲み物等の現物支給があること

ほぼ
同率

質問13「ボランティア活動をする際に必要なサポート」で上位に挙げられた「交通費の補助」、「食事の提供」は、質問14「若者のボランティア活動の参加意欲を高めるために必要なこと」においては、必ずしも上位ではない。

若者のボランティア活動の参加意欲を高めるためには、「一緒に活動できる仲間」がおり、「情報が簡単に入手でき」て「参加のための手続きが煩わしくない」ことが重要視されている。

また、活動の楽しさややりがい具体的に伝わってくることも参加意欲の向上につながるものと思われる。



◎ 本アンケートを踏まえた今後のボランティア活動振興策について①

1. 若者のニーズに沿った体験事業を展開し、参加意欲を高める！

受入施設・団体の拡大を目指し、福祉関係に限らず、イベント運営やスポーツ関連のボランティア等幅広い分野から募集し、より多くの若者に体験してもらえるように、高校や大学等への周知を行う。そして、体験期間を従来の7月～9月で終わるのではなく、12月まで延長し、若者がボランティア活動しやすくなる機会を提供する。また、受入施設・団体と若者のニーズに沿った活動プログラムを作成し、また若者にとって必要なサポート（交通費、食事等の自己負担の軽減）を行い、参加意欲を高め、活動を始めるきっかけづくりにつなげる。

2. 若者による若者のための啓発イベントを、若者自身が企画・実施する！

若者の参加したいボランティア活動では、「イベントや行事の手伝い」、「イベントの企画や運営」といった内容を選ぶ方が多かった。イベントの手伝いは、単発で成果の分かりやすさから若者に好まれる傾向にあるが、逆に既存のボランティア活動ではなく、自ら課題をみつけ、企画立案や運営を行っていく、能動的・開発的なボランティア活動の意欲も高いと思われる。

そこで、若者のボランティア意識を高めるための取組みを若者自身が考え、若者の手でつくりあげる啓発イベント「若者ボランティアフェス（仮称）」を実施する。



◎ 本アンケートを踏まえた今後のボランティア活動振興策について②

3. 情報発信の拡大で、いつでも・どこでも・簡単に入手できるようにする！

本アンケートの結果から、ボランティア活動をやってみたいという若者は多くいるものの、実際に活動している若者は少なく、意欲と行動にギャップがみられる。またボランティア活動の経験がない方の理由でもあったように、ボランティア活動に関する情報がないため、ボランティア活動したくても、行動に移せていない若者がいると思われる。

情報発信に関して本会では、HPやInstagramを活用しているが、なかなか情報が若者へ直接届くことが少ない。そこで「公式LINE」を活用し、若者に友だち登録してもらい随時最新の情報を発信していく。また、ボランティア情報だけでなく、イベント情報の発信にも活用し、若者への周知を図る。

また、若者はボランティア活動について「誰かと一緒に活動したい」、「ボランティア活動に関する情報が少ない」、「情報は学校や会社での掲示やお知らせが便利」と考えている。

引き続き、学校とは、福祉教育やボランティア体験事業を通じたボランティア活動に関する情報の共有と生徒への発信で協力関係を構築していくとともに、学習活動や進路選択において、地域社会への関心が高まるタイミングでの「サービスラーニング」としてのボランティア活動の活用やボランティアセンターの活用を促していく。



【参考文献・引用資料】

- 公益財団法人 日本財団ボランティアセンター
「全国学生1万人アンケート～ボランティアに関する意識調査2023～」アンケート集計結果
URL: <https://www.volacen.jp/pdf/2023-student-volunteers-survey.pdf>

- 福井県
「令和3年社会生活基本調査 福井県の概要」
福井県ホームページ
URL: <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei-jouhou/syakaiseikatu/syakai-r3.html>

- 「福井県県民社会貢献活動推進計画 第2次改訂版」
福井県ホームページ
URL: <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/012480/syakaikoukennkatudousuisinn/shakaikoukenplan2.html>



若者のボランティア活動意識に関するアンケート調査 集計結果および考察

令和7年2月 発行

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 福井県ボランティアセンター

監修：塚本 利幸（福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授）

〒910-8516 福井市光陽2丁目3番22号 地域福祉課内

TEL：0776-24-2433 FAX：0776-24-0041

E-mail：volunt@f-shakyo.or.jp

本アンケート調査の集計結果および考察内容を引用・活用される場合は、
上記連絡先までご相談ください。